

42780

教科書文庫

4
290
41-1944
20000 21589

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



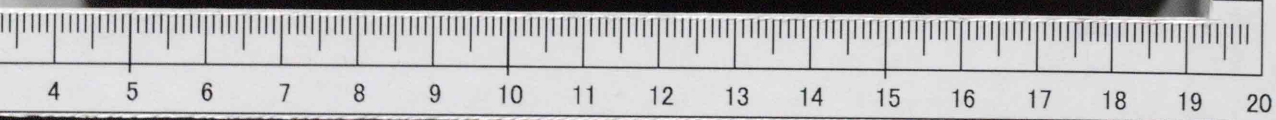
375.9  
Chuo  
資料室

# 地理

## 國土國勢篇

中等學校教科書株式會社

教科  
41  
200



資料室

375.9  
Ch420

文部省檢定濟

昭和十九年三月二十七日 中學校・高等女學校・實業學校國民科用

教科書文庫

4

290

41-1944

2000021589

# 地理

## 國土國勢篇

中等學校教科書株式會社

広島大学図書

2000021589



廣島大學圖書印

広島大学  
教  
21589  
圖書

目 録

一 生活圏としての自然……………二

二 資源産業と交通……………二十六

三 住民人口聚落……………六十三

四 國家と勢力圏……………七十九

五 皇國と大東亞共榮圏……………九十九



一 生活圏としての自然

われわれの生活する地域的地盤は、單なる個人の生活からではなく、國家活動を基礎として考へるところに、眞の意味がある。

人類は幾多の民族に分れて、廣く地球上に分布してゐるが、そこには主なる民族を主體とする多くの國々が作られ、又それらの國々には、それらの勢力圏が伴ふ場合も多い。かうした國々が、その國家活動を營むに當つて、おのづからそこに國家の生活圏が考へられるのである。しかも、この生活圏は、決して一定不變のものではなく、國運の盛衰・隆替りゅうたひによつて絶えず變化するものである。

大東亞は、久しい間歐米諸國の侵略を受けて、諸民族の生活圏が極度に狭められてゐた。しかし、今やわが國はこれを打破して、道義に基づく新

秩序を建設するために、國家の總力を擧げて戰つてゐる。

大東亞の住民が各の生存を維持し、固有の文化を伸張し、各國それらの發展を期するためには、わが國を中核として、滿洲・支那・南方諸地方などを一體とする生活圏を建設することが、絶対に必要である。

自然と人間とは、互に對立した存在ではない。人間が自然と調和した生活を營み、その生活を更に充實發展させるために、自然の奥深く藏せられた無限の力を開發し、利用して行くところに、自然と生活との眞の融合がみられ、それによつて國民生活も向上するのである。生活圏としての自然とは、かゝる意味の自然であつて、つまりは國民生活、或は國家活動の基として考へなければならぬ。

自然のもつ神祕の寶庫を次々に開いて、文化を高め生活を豊かにする眞の源泉たらしめるためには、われわれは常に科學精神を以つて自然に近づき、そのかすかなさ、やきにも耳を傾ける心の用意が必要である。

それでこそ、始めてわれわれは自然を開発し、その偉大な恵みを享受することができるのである。

そこで、順序として自然の内容を調べることにしよう。

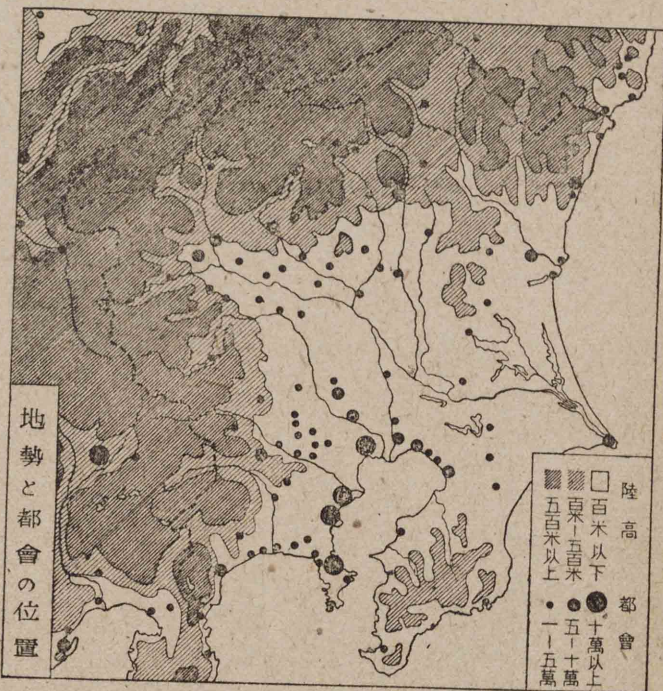
一 陸地 地球は陸界、水界、氣界から成り立つてゐるが、そのうち、陸地が人々の主要な活動舞臺であること、又、海洋に比べてその面積が小さいこと、さうしてアジア、ヨーロッパ、アフリカ及びアメリカなどに分れてゐることなどは、既に學んだ。しかし、われわれは更に進んで、この陸地の位置、構成が、國家の活動に與へる影響の極めて大きく、又、多種多様であることに注意しなければならない。

世界には、わが國のやうに、大陸と大洋とに對して極めて特殊な位置を占め、おのづから陸に海に伸び行く使命を果すにふさはしい國土に恵まれた國もあれば、ソビエト聯邦のやうに、廣大な國土を擁しながら、凍らな海への出口を求めて止まない國もある。又、ドイツのやうにヨーロッパ

の中央にあるため、交通の發達には大いに有利であるが、他面、多くの國と直接に國境を接してゐるので、複雑な國際間の問題が常に強く國運に反映してゐる國もある。更に又、英國のやうに狭い海峡で大陸と離れてゐるために、直接他國の脅威を受けることが少く、航空機の發達した今日でもなほ、その位置が國防上大きな意義を發揮してゐる國もある。

かういふ例からみても、一國の國土の位置が、いかに國家及び國民の上に深い影響を與へてゐるかがわかるであらう。

なほ、この國土を細かくみれば、陸地には平野、盆地、臺地、山地、河川、湖沼などがあつて、國民の活動とさまざまの關係を保つてゐる。地味肥沃で農耕に適し、しかも交通に便利な平野には人が多く集り、都市が興り、産業や文化が發達する。これに反して、山地や臺地は耕地に適する所が少く、交通も一般に不便なので、住民も少く、隨つて、文化の發達にも不利を免れない。しかし、熱帯地方では、山地は平地よりも氣候がよいので却つて居住



地勢と都會の位置

に適し、南米や中米、メキシコなどでは、數千メートルの高所にさへ都會が發達してゐる。嘗つてアンデス山地にインカ帝國が榮えたのも、氣候がよいことと、鑛産が豊かであつたことが一因をなした。

山地や臺地では、盆地が活動の中心として重要であつて、そこには住民が集り、産業が興り、都市が發達し、又、特色のある文化が育成される場合も多い。山がちで盆地の多いわが國には、この種の例は到る所に見られ、戦時下に於いて、盆地に工場が建てられる例も決して少くない。

高峻な山脈は氣候と相まつて、その地方々々にさまざまの影響を與へる。奥羽山脈や越後山脈が、日本海から來る冬の季節風を遮つて、日本海斜面と太平洋斜面とに、いかに異なつた影響を與へてゐるか。又、ヒマラヤの連峯が、インド洋から來る夏の季節風を遮つて、南のインド平野と北のチベット高原とに、いかに異なつた現象を起させ、いかに生産の上に大きな相違をもたらししてゐるか。

これと同じ現象は、三面を山に取り圍まれたビルマに於いても見ることがができる。中國山脈や四國山脈などによつて圍まれたわが瀬戸内海地方が、氣候その他に於いて、一つの特色ある地域を作つてゐることもまた、この例として考へることができ。

火山は爆發による被害を周圍に及すこともあるが、その山容は一般に秀麗で、風景美の一要素として目を引き、同時に湖や温泉を伴なつて、保健

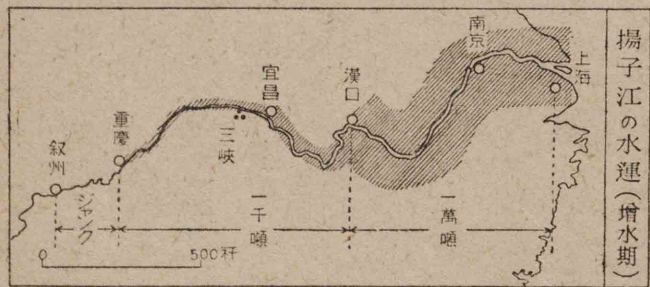
に適するものが多く、その裾野はよい牧場として利用される場合が少なくない。火山地方には屢、金属鑛床を伴ひ、又、火山質の岩石の風化した土壌のうちには、非常に肥沃なものがある。

地震は火山と同様に、地盤の弱い所に起る。わが國は、環太平洋地震帯の一部に當り、世界でも地震の多い地域として有名である。随つて、わが國では國民生活の上に與へる影響が大きいので、地震に關する多くの問題に對して、常に考究と對策とを怠つてはならない。

河川と湖沼とが、人類に貢獻するところもまた大きい。河川は天然の交通路であるばかりでなく、飲料水、灌漑用水、工業用水、動力などを供給するので、國家生活に缺くことのできない要素となつてゐる。メソポタミヤ、エジプト、インド、支那などに於ける古代の文化が、河川の沿岸に發祥したことは、古くから文化の發達と河川との關係が深かつたことを物語るものである。

世界の河川のうちで、交通路として最もよく利用されてゐるのは、揚子江とライン川とである。揚子江は、水量が豊かで、可航距離も長く、又、流域は人口が稠密であり、各種の物産にも恵まれてゐるので、交通上の大動脈となり、沿岸に上海、南京、漢口など、數の大きな都市が發達してゐる。ライン川は餘り大きな川ではないが、水量の變化が少く、且つ、人口の稠密な、産業の特に發達した地方を流れてゐるので、交通路としての利用は甚だ盛んである。その他、ヨーロッパの諸河川や米國のミシシッピ川、南米のラプラタ川なども交通路として重要である。それらに比べると、わが國の河川利用は極めて小規模である。

飲料水や灌漑用水としての河川の價値は、乾燥地方の場合に特に著しい。ナイル川はその適例で、エジプ



トの居住地域は、殆どその三角洲と河谷とに限られてゐる。

水力発電の動力源としての河川の利用は、自然の力を開發した人類の一大傑作ともいふべきである。現在、世界の各國はこの新しい動力源の開發に努め、その發電力の大小は、一國の工業に至大な影響を與へるやうになつた。わが國では本州中央の高地を始め、到る所に水量の豊かな急流があつて、水力発電が盛んに行なはれ、工業の發達に寄與するところが頗る大である。スイスやイタリヤでは、國內に石炭の産出が少いが、急流や瀑布が多くて水力発電が盛んなため、工業が發達してゐる。

湖沼は交通動力源漁業などに利用される場合が多い。特にアメリカの五大湖は、中央平原の農産物やスベリオル湖畔の鐵鑛を東部地域に運搬する主要交通路で、この點世界の湖沼のうち、最も大きな利用價值をもつてゐる。わが國には琵琶湖を始めとして、各地に湖沼があるが、概して山地に多いので、交通よりも寧ろ動力源としての利用價值が大きい。

海岸には單調な海岸と、半島・入江・島嶼（しまじま）などの多い複雑な海岸とがある。リヤス式海岸は複雑な海岸の一例で、この種の海岸には自然の良港を伴ふことが多い。交通・漁業・貿易などに利便を與へる。しかし、貿易港として發達するためには、横濱・神戸・上海などのやうに、後背地として大生産地又は大消費地を控へ、且つ、それとの連絡が便利でなければならぬ。わが本州北東部の東海岸には自然の良港が澤山あるが、いづれも近くに山地を控へ、その上、よい後背地がないので、僅かに漁港や避難港として利用されてゐるに過ぎない。

二 氣候 自然のうちで、國民生活に最も大きな影響を與へてゐるものの一つは氣候である。われわれの精神生活を始め、食糧生産などは、直接間接氣候に制約されてゐるといつてよく、氣候の性質は直ちにその國の政治・經濟・文化・生活など、人文に著しい影響を與へる。又、航空と關係の最も深い氣象状態に就いても、一層の關心を深める必要がある。



一年中酷暑の熱帯特にその多雨地方は概して農林産物が豊かであるが、人類の居住には適せず、住民の性質も安逸に陥りやすいので、国力の伸展には適さない。寒帯地方では例へばカナダ北部に住むエスキモー人のやうに、日々の食物を得ることがやうやくて、殆ど文化の發達する餘地がない。このやうな地方は、人口密度が極めて小さく、甚だしい場合には、住民の全然ゐない地域にさへなつてしまふ。

これらに對し、温帯地方は天産物が多く、且つ、四季の變化が住民に對してよい刺戟を與へ、その活動力を旺盛にするため、文化の中心地となり、わが國を始め、国力の充實した國が多い。殊にわが國は温帯を主として、北は寒帯から南は熱帯に跨がつてゐることや、特に四季の變化に富むことなどは、一大特色として注目しなければならない。

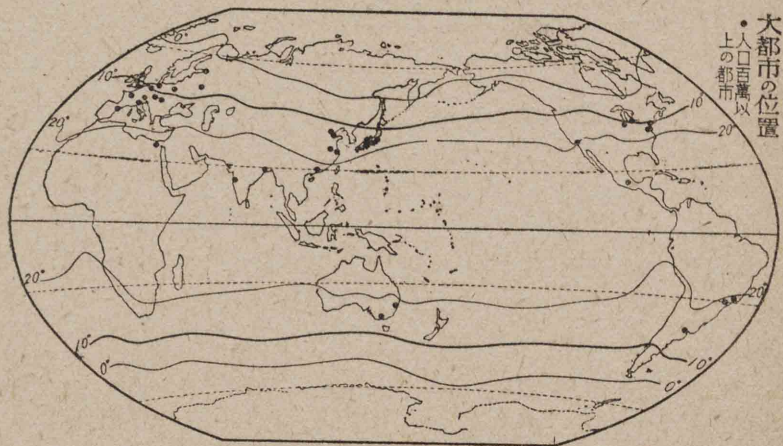
氣候には、海陸の影響によつて、氣温の變化の小さい海洋性氣候と、氣温の較差の大きい大陸性氣候とがある。英國やニュージーランドなどは

海洋性氣候の好例である。わが國は四面海に圍まれてゐるが、全般的にやゝ大陸性を帶び、冬は相當寒く、夏はかなり暑い。これによつて、國民はおのづから精神的、肉體的に鍛鍊され、いはゆる氣候馴化力の強いことを忘れてはならない。このほか、わが國の産業方面殊に農産物に對しても、夏の高温は著しい恩恵となつてゐる。シベリヤの西部や東歐地域はかなり北方に偏在してゐるが、大陸性氣候の特色が著しく、夏は高温なので農業が盛んである。

次に、氣候要素のうちでも氣温や風雨などに就いて、それらが國家の活動や國民の生活にどんな關係があるかを調べてみよう。

十五度内外の氣温が、人體に最も適當であり、労働能率にもよいといはれてゐる。わが國の春や秋の氣温が、ちやうどそれで、その頃が一番住みよく、仕事の上でも最も能率のあがる季節である。

各種の氣候と人文との關係に就いては既に學んだが、それは主として



気温と人文との關係にほかならない。上の圖によつて、世界の大都市が何度の等温線に沿つて發達してゐるかを調べ、又世界の強國がどんな氣候の所に位してゐるかを見るがよい。

気温が農業に大きな影響を與へてゐることは米・小麦・大豆・たうもろこし・綿その他の農産物の分布を見ればよくわかる。米國や東歐地域や濠洲などでは、この分野が殊にはつきりしてゐる。

このほか、気温は動植物に影響を與へ、南方では焼けつくやうな太陽熱と、その他の自然の條件とによつて、到る所にゴムやシチーク・

ラワンなどが生育してゐる。それから北に進むにつれて松杉もみぶななどが繁茂し、更に進めばえぞ松とど松・落葉松などの林が展開するやうになる。このやうに、気温の影響によつて熱帯林から温帯林・寒帯林へと三つの林相がはつきりし、しかも、それらの地區に應じて、各種の建築家具・裝飾品の用材や人絹・製紙用のパルプなどが産出されてゐる。

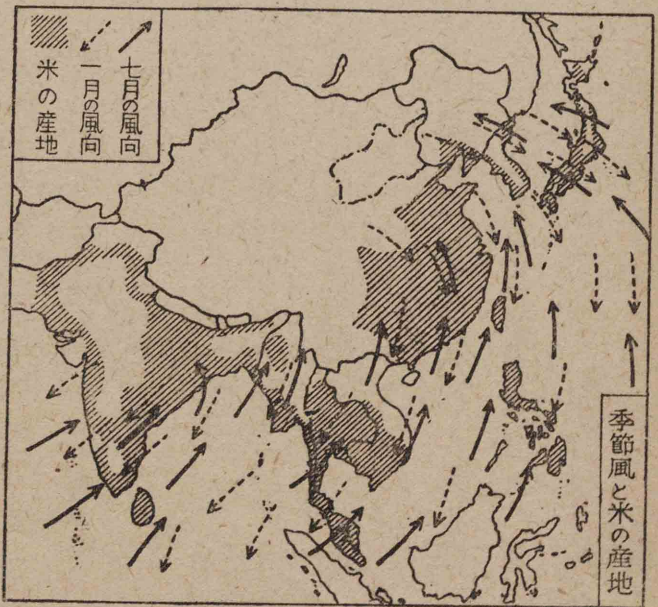
風もまた人間の生活に大きな影響を與へるものである。風にもいろいろあるが、中でもわれわれの最も注意しなければならぬものは季節風である。これは大陸と大洋との氣壓の差に基づき、季節によつて一定の方向に吹くものである。

季節風は規模の大小はあるが、世界の各地に吹いてゐる。しかし、東亞の季節風ほどその規模が大きく、しかも、住民に大きな影響を與へてゐるものはない。次頁の圖によつて、わが國を始め東亞の各地が、全くこの季節風帯に屬することを認めるがよい。わが國の冬の寒氣のきびしい原

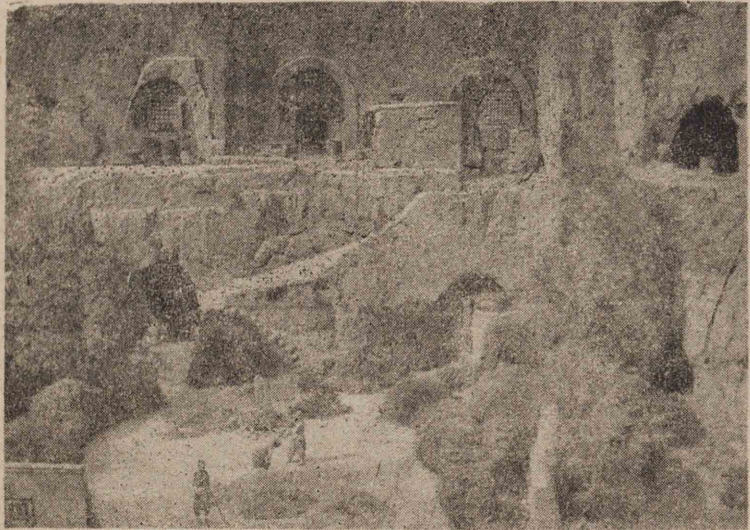
因の一つは、北西風の卓越するためである。又、夏は南東風によつて海からの湿気が本土へ運ばれ、蒸し暑さと多雨の原因を作つてゐる。東亞の一大特色である米の生産も、夏の季節風に影響されてゐることは、圖のよく示すところである。

インドでは夏の季節風が吹き始めると、綿や米やそのほかの農作物の植附けが始り、季節風による雨量が豫め発表されて、それが直ちに經濟界に影響する。

北支那では冬の季節風が烈しく、この風が蒙古高原から北支方面へ砂



黄土地方の穴居



一 生活圏としての自然

塵を吹き送つて、有名な黄塵萬丈の光景を現し、そこに廣大な黄土地帯を作り上げたといはれてゐる。この風が濕潤な日本海を渡つて本州に吹きつけ、脊梁山脈に影響されて、日本海斜面に多くの雨や雪をもたらすのである。

この季節風と並んで、東亞にはフィリピンの東方から起つて、南支那や日本を襲ふ颱風がある。これは屢、その通路に當る地方に多大の被害を及し、わが國などでも六、七月頃から晩秋にかけて、その被害を蒙ることがある。この風害は殊に日本の南西部に多い。これは地震や

津浪などと共に、わが國の天災の一つではあるが、しかし又一面、これらの天災は、これに堪へる強い精神の試煉をわが國民に與へたことも、決して見逃してはならない。われわれはかうした自然の試煉に堪へて行く強い精神を養ふと共に、すぐれた科學の力を以つて、極力その災害を防ぐことに努力しなければならぬ。

赤道の南側には南東貿易風、北側には北東貿易風が吹き、さうして、赤道を中心とする一帯の地域は、一般に雨量が多く、森林が繁茂してゐる。

貿易風の南北には偏西風が吹いてゐる。ヨーロッパでは、この風が海流と相まつて、氣候に大きな影響を與へてゐる。北千島やアリューシャン方面に於いても、冬は烈しい西風が吹きつゝのる。

これらの風が、航空方面に與へる影響は非常に大きい。大陸と大洋とに挟まれ、錯雜した地勢をもつわが國土、寒帯から熱帯に互るわが國の空の状態は、全く特殊のものがあることを忘れてはならない。

以上のほか、各地方にはそれと固有の地方風がある。

雨が氣温と共に國民生活や總べての生物にとつて必要なことは、いふまでもない。地球上で雨の比較的多い所は、概ね植物がよく生育し、農耕が行なはれ、人口も多い。アジアの南東部、ヨーロッパの一部、北米の東海岸地方などはそれらの好例である。しかし、東インド諸島のスマトラ、プア、南米のアマゾン川流域、或はアフリカのギネヤ灣岸などは熱帯の多雨地であるが、この例に當らない。それは、これらの地方が雨には恵まれてゐるが、そのほかの自然の條件が著しく文化の發達を妨げてゐるからである。

又、雨の非常に少い所に出来る草原や沙漠は、たとへ氣温が適度であつても農耕には困難で、人口密度も至つて小さい。中央アジアの草原や、ゴビ沙漠、サハラ沙漠などはその例である。しかし、沙漠地帯でも流水や湧水に恵まれた泉地は人類の居住に適し、小規模な農耕が行なはれる。

雨の多少が、農産物や畜産物に與へる影響は非常に大きい。僅かに一時間多く降る雨も、アメリカではたうもろこしのおびたゞしい増收の原因となり、濠洲では羊毛、インドでは綿の増産と深い關係がある。わが國でも、夏の適當な雨は高い氣温と共に米産上の大切な條件となつてゐることは、既に調べた通りである。滿洲や北支での綿・小麥・大豆・かうりやんなどの増産に就いても同様である。

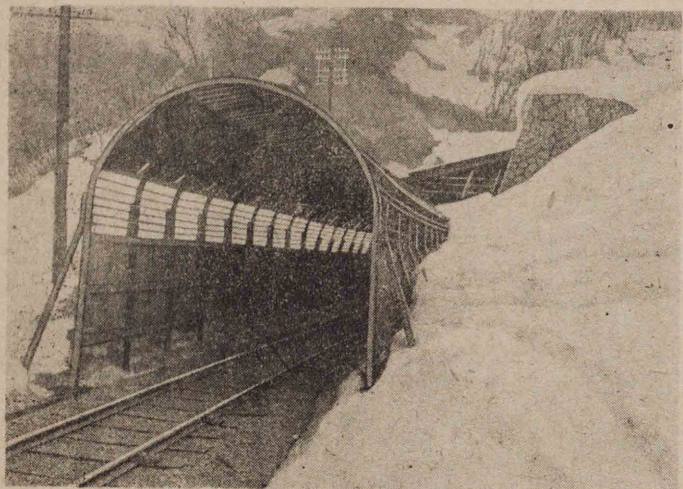
なほ雨は、工業用水として綿・人絹紙などの工業を始め、多くの工業に關係が深いばかりでなく、河川の水は水力の發電に、清水は飲料水として、直接われわれの生活に役立つてゐる。

そのほか、降水量の多少や降水時期は、各地方の風俗習慣や家屋の構造などにも大きな影響を與へてゐる。

更に、雪もわれわれの生活に密接な關係があり、特にわが國では日本海方面の住民の忍耐強い氣質を育成し、又、産業や交通に與へる影響も極め

て大きい。北陸地方の深雪は、世界にもその例を見ないものである。

防雪トンネル



三 海洋 海洋は地球表面の約七割を占め、經濟上政治上われわれと密接な關係がある。世界の強國といはれる國家は、大陸に對してよい位置を占めると同時に、海洋に對しても有利な位置を占めてゐる場合が多い。海洋と大陸とに對するわが國の特殊な位置を、もう一度こゝで注意するがよい。

海洋に就いて考へなければならぬ問題には、海流・潮汐や海水の性質、海底の地形など種々あるが、先づわれわれに最も關係の深いものの一つである海流に就いて調

べてみよう。

黒潮(日本海流)によつて運ばれる水量は、世界の全河川の水流の二十倍にも達し、メキシコ湾流は、更にその一倍半に及ぶといはれてゐる。この大規模な海水の運動は、われ／＼にどんな関係があるであらうか。

海流は風と相まつて、気温の調節に著しい働きをしてゐる。メキシコ湾流の上を渡る西風の影響を受ける英国やノルウェーでは、夏は涼しく、冬は溫和で、特に冬の等温線が南北に走るやうな気温の配置が見られる。わが本州の北東部に於いて、日本海沿岸が太平洋沿岸よりも、冬、気温が高いのも、日本海沿岸には暖流の對馬海流が流れてゐるのに對し、太平洋沿岸には寒流の親潮(千島海流)が流れてゐるからである。

海流は又、漁業に大きな関係がある。特に寒暖二流の相會する潮境には魚類が多く集り、それが陸棚に當つてゐる場合には、世界的の大漁場となる。北洋漁場などはその好例で、わが國は、この世界最大の北太平洋の



漁場に接する有利な地位を占めてゐる。

海洋は魚類や貝類、海藻などを提供するばかりでなく、海水は無限に塩を含んでゐる。赤道を中心として南北五十度に至る間の海岸には、到る所食塩を産し、日、滿支、南方もこれに恵まれてゐる。このほか、北太平洋のらつこをつとせい、南極海の鯨など、海獣の多く棲息する所もある。

交通機關の發達しなかつた時代には、海洋は交通上、大きな障碍であつたが、今日では、極めて大切な交通路となつてゐる。海洋の大部分は公海で、何人も自由に航行することができ、且つ、陸上の交通路より運賃が遙かに低廉なため、特に大陸間の交通路としての利用が益、盛んになつて來た。しかも、戦時に於いては、海洋は國土防衛上、特に重要な機能を發揮する。現下の世界的大動亂に際しての太平洋や大西洋は、よくこれを證明してゐるし、又、英本國防衛の上からみたドーバー海峡の役割は、今日もなほ注意すべきものがある。

これは海洋が交通と防衛との大きな働きのあることを示すものであるが、われわれは海洋を國土の防衛からのみでなく、進んで國家活動の舞臺として確保することが必要である。海に恵まれたわが國の輝かしい歴史を思ふ時、われわれは更に一層、海に對する認識を深めなければならぬことを痛感する。

海洋にはこれに附隨して内海、縁海、海峡、灣などがあつて、これらも國家活動の上からみて、それら重要な機能をもつてゐる。

わが國は今、西太平洋全域から米英の勢力を一掃したただけでなく、マラッカ海峡そのほかの要所を確保し、インド洋へも進出してゐるのである。このやうな廣大な海洋の支配は、世界歴史始つて以來の大規模なものであるが、われわれの前途には、なほ幾多の艱難が横たはつてゐることを忘れず、大東亞建設の大業を完遂するために全力を盡くさなければならぬ。

### 二 資源産業と交通

國家の活動を旺盛にし、國民生活を安定にするため、産業が營まれる。産業を營むに當つて、自然のうちから取り出す價值のある物資は、即ち資源である。資源は自然そのものではなくて、そこに人々の働きが織り込まれて始めて成り立つものである。

資源は、産業の方法によつて農産資源・鑛産資源・水産資源などに分けられ、又、資源の存在する場所によつて地上資源・地下資源・水中資源などに、更にその用途の上から食糧資源・衣料資源・動力資源などに分けられる。各種の資源は一國の經濟力を形づくる基礎的な要素で、一國の資源の量や種類は、その國の國力や國民の生活に大きな關係をもつてゐる。

自然のうちに存在する資源を、實際に國民の生活に役立たせるには、採取・加工を始め、いろ／＼な經濟活動が必要である。各種の經濟活動のう



産業の分布



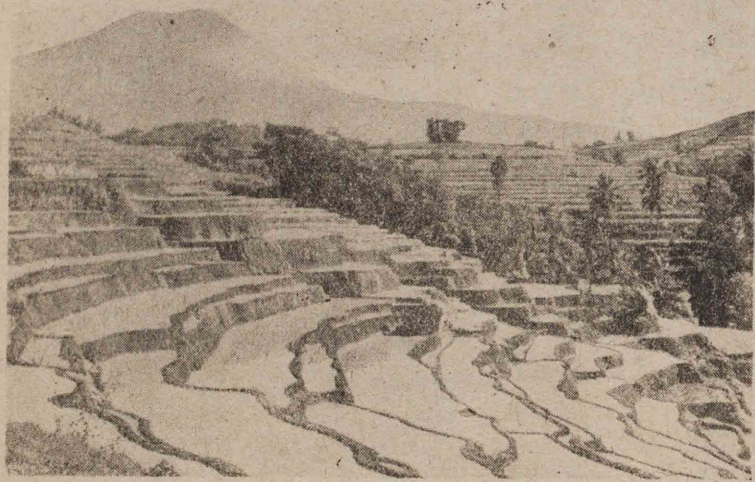
ち、自然から第一次的に資源を引き出す原始産業には農業、林業、鑛業などがあり、それらを基礎として成り立つものに、工業や商業がある。

一 農業 いろいろな産業は地理的條件によつて、どんな影響を受けてゐるか。先づこれを農業に就いて調べてみよう。

農業の主な部面は、有用な植物を栽培することにあるが、その植物の分布を決定する第一の條件は氣候である。臺灣に多いバナナやパイナップルは内地には生育せず、内地のりんごや櫻桃は南方には適さない。又、寒冷な地方では、一年のうち限られた期間しか農作が行なはれない。甘蔗やさつまいもは、わが國では南方地域に最も適し、燕麥やじゃがいもは北方地域に多く分布する。植物の生育には一定量の水が必要であるから、雨のごく少い沙漠には、灌漑によるほかは農業は成り立たない。

次に、植物の成長を支配するものは土壤の性質である。土壤は岩石が空氣・水・生物などの作用により物理的・化學的の變化を受けて出来るもの

東インド諸島の階段水田



で、母岩のある場所に出来る定積土と、母岩から遠く離れて堆積する運積土とがある。山地の土壤は大抵定積土であるが、河岸海岸の平野の土壤は、大抵運積土である。

定積土は耕作には餘り適さないが、運積土はいろいろな成分を含み、殊にその中の沖積土は最も耕作に適する。農業者は、概ねその土地の土壤の性質に適するものを栽培するから、土壤の性質によつて、おのづから栽培作物の種類も違つて来る。

地勢もまた農作に影響する。それは、地勢が氣温や土壤などに關係するだけでなく、耕地の廣さや交通の便・不便にも影響す

るからである

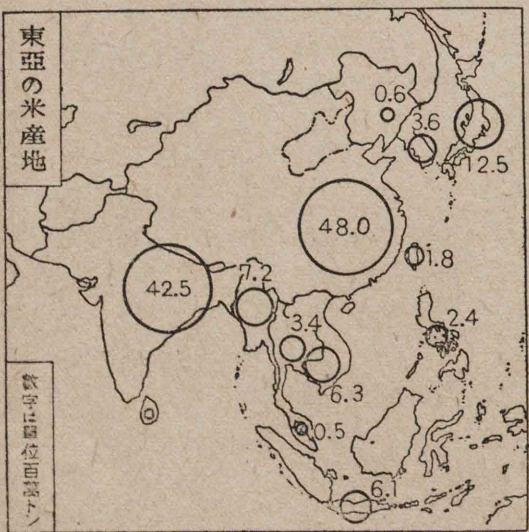
農業に最も適するのは、熱帯及び温帯の水利交通の便利な平野である。しかし、農業はこのやうな自然の條件に支配されるだけでなく、人口の密度や國民の性格などにも支配される。例へば、東亞の季節風帯に多い山腹の階段耕作は、狭い耕地で多くの人口を養ふ必要から工夫された耕作法であり、英國の農業が商工業の發達につれて衰へたのは、農業よりも利益の多い商工業に走つた、功利的な國民の性格からである。

わが國は、農業國として氣候や土壤には恵まれてゐるが、國土が狭い上に山地が多く、内地の耕地は全面積の僅か一割六分しかなく、農業者一人當りの耕地はドイツの五分の一、米國の三十分の一に過ぎない。この狭い耕地で、稠密な人口を養ふ必要があつたので、極度の集約的耕作が行なはれて來た。北海道や滿洲では、まだ比較的人口が稀薄なので、濠洲やアメリカ大陸のやうな粗放的耕作法が見られる。

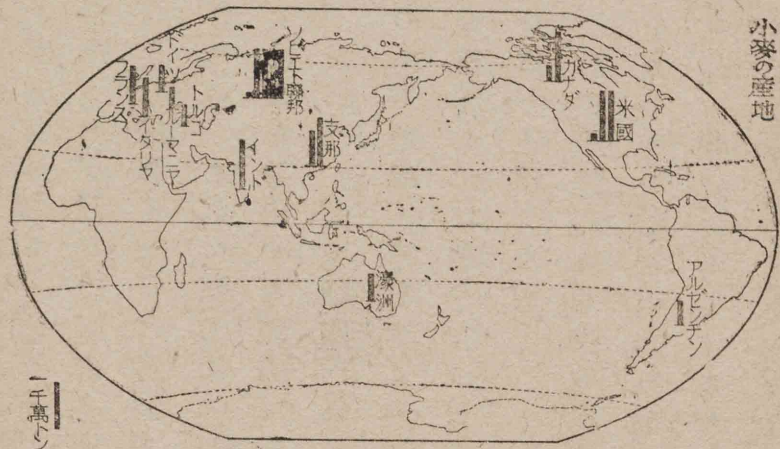
米は大東亞の季節風帯の特産物で、わが國を始めインド、支那、インド支那、東インド諸島など、わが共榮圏で世界産額の約九割五分を産する。そのうち支那、インドは産額も大きいが、人口もまた非常に多いので、自給てきない。これに、反して、人口密度のやゝ小さい東部インド、支那、ビルマ、タイは米を輸出する地方である。

このやうに、共榮圏内には米産に餘剰のある地域と、不足する地域とがあるが、全體としては補ひ合つて、完全な自給圏を作り上げてゐる。

わが内地では、北海道以南の全域に米を産し、その需要の大部分を自給してゐるが、一部分の不足はこれを外地からの移入によつて補充し、なほ若干をインド



小麦の産地



支那方面から輸入する場合もある。國民の主食糧を國內に於いて確保することは國防上特に大切であるから、わが國では現在、米作の擴充を始め、あらゆる方面から食糧の完全な自給策が研究・實施されてゐる。小麦の産地は世界に廣く分布してゐるが、中でもソビエト聯邦、米國、カナダ、インド、アルゼンチン、濠洲などは世界に於ける主要産地で、英國を始めヨーロッパの諸國は、これら地域からの輸入によつて自國の需要を満たしてゐる。世界の小麦の産額は、米の産額と略等しいが、國際商品としての量は、米の約二倍に達してゐる。

小麦は小麦に比べて氣候への適應性が大きいが、産地は小麦よりもやや狭い。

わが國では略、全域に麦作が行なはれる。主に冬作で、産額は米の約四割に及び、米と共に國民の主要食糧として、その増産をはかつてゐる。

たうもろこしは夏に氣温が高く、雨の多い地方に適する。米國の中部地方が最大産地であり、アルゼンチンが大輸出國である。アジアの南東部や滿洲にもかなり産する。

じやがいもは冷涼な氣候を好み、中歐地域及び東歐地域がその主産地であり、わが國では北海道や、本州の北東部、朝鮮などに多く栽培される。

さつまいもは熱帯から温帯にかけて廣く栽培され、支那・日本・米國・東インド諸島などに多く産出する。わが國では關東平野以西の地方に多く作られ、食糧としてのほか、アルコールの原料としても重要である。

大豆は、滿洲が世界産額の約三分の一を占め、豆粕・豆油などの加工品と

共に重要な産物となつてゐる。そのほか、支那米國も大豆の産地として知られ、わが國では朝鮮及び北海道などに多い。

甘蔗は熱帯の産物で、西インド諸島やインド、ジャワ、ハワイ、臺灣、フィリピンなどに多く産する。甜菜は冷涼な氣候に適し、ヨーロッパ諸國に多く作られ、わが國では北海道で栽培されてゐる。

茶は季節風帯の丘陵地や傾斜地に栽培され、支那を始めインドのアッサム、セイロンやジャワ、スマトラなどを大生産地とする。わが内地では、本州の中央部以西に緑茶を、又、臺灣には紅茶、包種茶、烏龍茶を産し、いづれも従

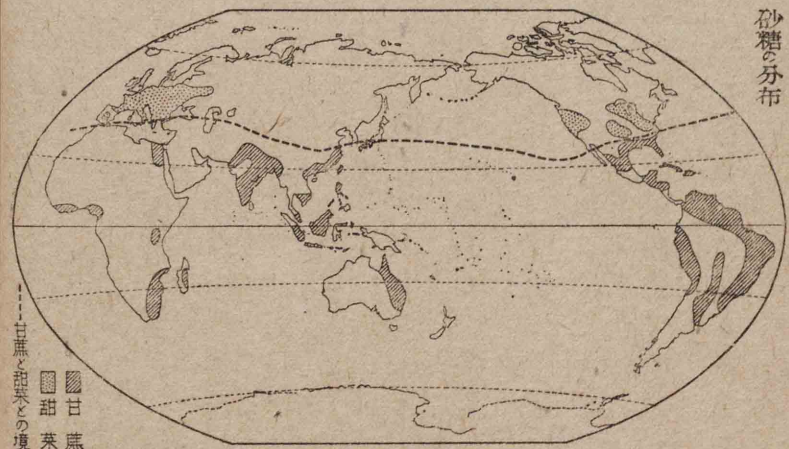
來、大切な輸出品となつてゐた。コーヒーは熱帯の高原に適し、ブラジルは世界産額の三分の二を産する。ココアはカリブ海沿岸やアフリカのギネヤ灣岸のやうな赤道地域の雨の多い所に産する。

煙草は温帯にも産するが、熱帯産の方が品質がすぐれてゐる。インド、米國、ソビエト聯邦では産額が多く、キューバ、スマトラ、ジャワなどの産は質がよい。わが國では本州、四國、九州などに産地がある。

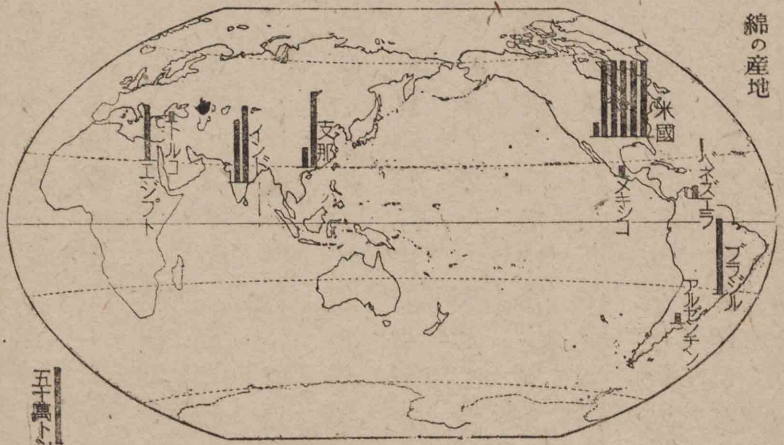
果實の種類は頗る多い。バナナ、パイナップルは西インド、中央アメリカに多く産し、主として米國に送られる。柑橘類、ぶどう、いちじくなどは、夏乾燥する地中海性氣候の地方に適し、りんごは冷涼な地方に作られる。わが國は南北の廣がりが大きいため、各種の果實を産する。

農作物のうち、工業原料として特に重要なものは綿である。綿は熱帯、亞熱帯の生育期に雨が多く、成熟期に乾燥するやうな氣候によく適するが、その生産地がかなり偏在してゐるので、重要な貿易品となつてゐる。

砂糖の分布



綿の産地



米國は世界産額の半ば以上を産し、専ら黒人の勞力によつて耕作されてゐる。インド・支那・エジプト・ブラジルなども重要な綿産地である。わが國では從來大部分を米國とインドから、一部分を支那・エジプト・ブラジルから輸入してゐた。最近支那・ビルマ・東部インド支那・フィリピンなどでは、共榮圈内の自給を目ざして、その増産が試みられてゐる。

生絲もまた重要な衣料資源である。養蠶業は、温暖で桑の生育に適し、且つ、勞力の豊富な地方に行なはれる。殊に、わが國は世界産額の大部分を占めてゐる。從來は、重要な輸出品であつたが、最近は戦争による輸出の減

少や食糧増産のため、一部その生産が制限されてゐる。このほか、支那の中部・南部も重要な産地である。

麻の種類にはいろいろあり、リンネル・レースの原料となる亞麻は、東歐地域に多く産する。艦船用に缺くことのできないマニラ麻は、フィリピン、特にミンダナオ島に多く栽培されてゐるが、それは専ら同地へ移住した邦人の努力の賜物である。黄麻はインドの特産で、これから作る麻袋は米・砂糖・綿などの包装用に供せられる。なほ苧麻は支那、大麻はソビエト聯邦を主産地とし、共に織物・綱などに用ひられる。

製油工業の原料としては、滿洲大豆のほか、東インド諸島及びマライ・セロン島などに産するココヤシが有名で、その果實を乾燥したコブラからはやし油を取り、食糧及び工業原料とする。

油桐は揚子江流域及び南支那に多く、その種子から取つた桐油は貴重な塗料で、米國は年々これを多量に買ひ入れてゐた。

農業に就いては、このやうに、食糧や工業原料を供給する大切な産業としてのみでなく、なほ注意すべき部面がある。即ち、農村は一般に質朴、剛健な氣風がある上に、都市に比べて、出生率が高いので、人的資源の供給地として、極めて重要性をもつてゐる。随つて、農村の維持と發展とは、國家の人口問題の上からも大切なことである。

わが國は古來瑞穂の國といはれ、神代から農を尊び、これを立國の基としてゐた。その上、常に皇室の御獎勵があり、官民もまた不斷の努力を續けたため、農業國として極めて健全な發達を遂げてゐる。しかし、なほ綿を始め、必需原料品で不足するものが少なく、食糧の完全な自給に對しても一段の努力を要する。そのためには、農法の轉換、耕地の擴張などに努めるのはもちろん、大東亞を一丸とする農産自給圏の確立に努力しなければならぬ。

二 林業 林業に於いては自然に生育する植物をも採取するが、一面に

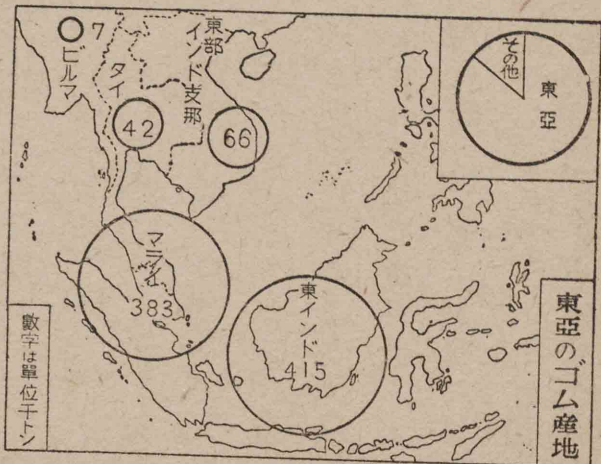
は人工による造林も行なはれてゐる。歐米諸國では一般に造林が盛んで、特にドイツは林業の模範國といはれる。わが國でも、古來造林とその保護とに努めた結果、到る所に美林が見られる。

樹木は、ツンドラ帯、草原帯、沙漠などのほかは到る所に生育するが、廣大な森林は温帯の北部と熱帯地方とに分布してゐる。陸地の約三割は森林によつて覆はれてゐるが、亞歐大陸の森林面積が最も大きい。世界最大の森林國はソビエト聯邦で、ブラジル、カナダ、國がこれに次ぐ。わが國の森林は、ソビエト聯邦やカナダのやうに平地に森林があるの

森林の分布



■ 針葉樹林  
 ▨ 闊葉樹林  
 ▩ 混交樹林

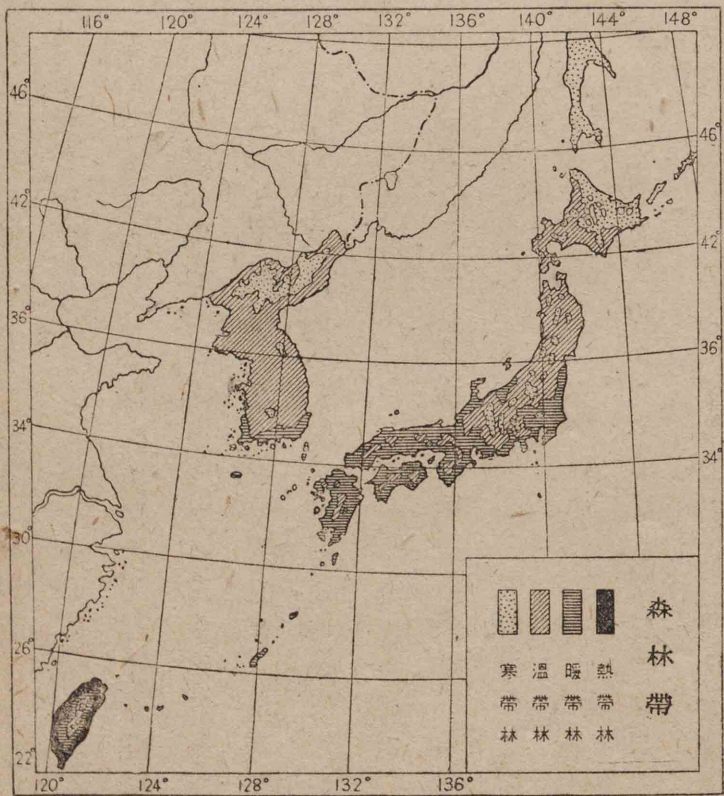


に廣く、特に軍事上大切である。從來、世界最大のゴム消費國は米國で、その盛んな自動車工業は、總べて東亞のゴム資源に頼つて發達を遂げたのである。大東亞戦争によつてその供給を斷られた米國は、南アメリカア

と違つて、殆ど山地に限られ、その面積は全土の約半ばに當つてゐる。本州・四國・九州などには見事な造林が多く、北海道・樺太・臺灣・朝鮮などは天然林に恵まれてゐる。われわれの生活に最も重要な熱帯樹は、ゴムのきである。原産地はブラジルであるが、現在はマライ・東インド諸島が世界産額の八割を占めてゐる。随つて、ゴムは大東亞に最も豊富な資源である。

フリカなどに於けるゴムの増産や、再生ゴム・合成ゴムの製造に努めてゐるが、莫大な消費量を補ふことはむづかしく、大いに苦しんでゐる。亞熱帯産のチーク材はタイ・ビルマなどに産し、造船用として貴重である。臺灣には樟の自生するものが多く、これから採取される樟腦は、世界産額の過半を占めてゐる。

ジャワのキナは、キニ



ノネの原料として軍事上衛生上に缺くことのできない重要資源であるが、これも大東亞以外には殆ど産しない。

北温帯の高緯度地方には松杉もみつがとど松えぞ松などが多く、建築用・パルプ用に供せられる。この森林帯は亞歐アメリカの二大陸に跨がり、その中に含まれるカナダ・スカンジナビヤ・フィンランド・ソビエト連邦などでは、大切な産業となつてゐる。又、この森林中には多くの毛皮獸が棲み、カナダ・シベリヤは重要な毛皮産地である。

わが國の製紙用及び人絹用パルプは、現在、北海道や樺太の森林から供給されてゐるが、近時、朝鮮及び滿洲に於いても、パルプの生産が行なはれるやうになつた。

森林は薪炭・用材・食糧などを供給するだけでなく、水源の涵養や水害の防止などにも大切で、農業と深い關係があるから、わが國ではその保護育成に十分の注意と努力とを拂つてゐる。

三 牧畜 畜類はわれ／＼に食糧や皮革を供給し、更に交通・運搬・耕作の勞力となるなど、その效用は頗る大きい。

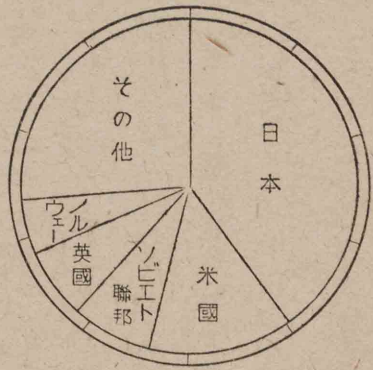
牧牛は米國・アルゼンチン・濠洲・ニュージールランドなどに大規模に經營されてゐる。わが國では朝鮮・中國・九州・北海道の諸地方に多いが、小規模である。乳牛を飼つてバター・チーズなどを造る酪農業は米國・ドイツ・デンマーク・オランダ及びアルプス地方に盛んで、乳牛の優良種には、これらの地方の地名を取つたものが多い。

牧馬はソビエト連邦・米國・アルゼンチンなどに最も盛んである。わが國では北海道本州北東部及び九州の高地や、火山の裾野などに行なはれる。馬は農耕及び軍事上頗る重要な家畜で、各國ともその飼育を奨励してゐる。

養豚は多く農家の副業とされ、支那・米國・ドイツなどに盛んである。緬羊は温帯の雨の少い地方、即ち濠洲を始め米國・アルゼンチン・ニュージール



世界の漁獲高の割合



ランド・南アフリカ・ソビエト連邦・ヨーロッパ諸國などに多く飼育され、主に羊毛を採取する。從來、わが國は羊毛の大部分を濠洲から輸入してゐたが、將來は滿洲・支那などの牧羊の發展をはからなければならぬ。

四 水産業 漁業には、沿岸漁業と遠洋漁業とがある。遠洋漁業のうちで、動力船を用ひ、大規模に曳き網をするものをトロール漁業といふ。

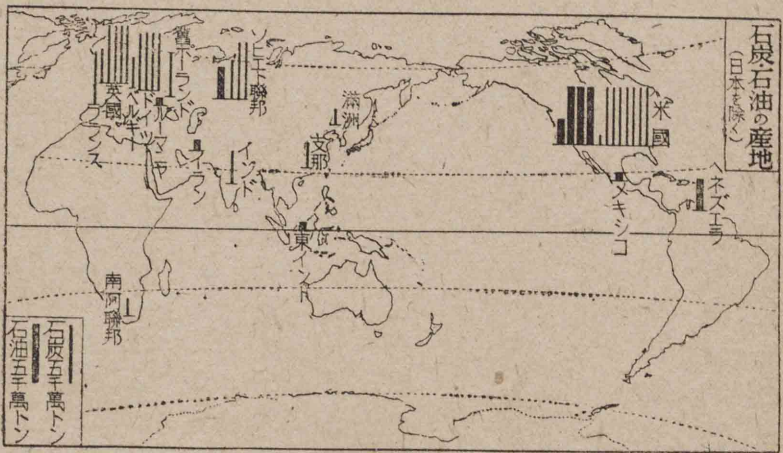
北太平洋の日本近海からオホーツク海・ベーリング海に至る北洋漁場と、北大西洋の北海を中心とする漁場及びニューファンドランド島附近を中心とする漁場とは、世界の三大漁場といはれてゐる。

わが國は世界第一の漁業國で、漁業者の數は世界漁業者總數の過半を占め、漁獲高は世界漁獲高の四割に達してゐる。沿岸漁業ばかりでなく、

遠洋漁業もまた著しい發達を遂げ、北は北洋漁場・アラスカ近海に活躍し、南は赤道を越えて濠洲・ニュージランド近海から南極海にまで發展し、又、東はアメリカの近海から西はインド洋に進出し、その活動範圍は極めて廣かつた。さうして、古來獸肉に乏しかつたわが國に、豊富な魚肉を提供して來ただけでなく、乾製・塩製・罐詰などに加工して、盛んに支那米國などに輸出してゐた。大東亞戰爭により、遠洋漁業や水産物の輸出品は制限されてゐるが、將來は共榮圈内への供給を目ざして邁進しなければならぬ。

わが瀬戸内海地方・臺灣・東亞各地の食塩も水産の一つで、食用及び工業上極めて大切である。歐米では多く岩塩を用ひてゐる。

五 鑛業 地殻中に埋藏されてゐる鑛物のうち、經濟的價値の大きいものには鐵・銅・錫・鉛・亜鉛・ニッケル・アルミニウム・マグネシウム・金・銀・白金・タンガステンなどの金屬性鑛物と、石炭・石油・石材・岩塩・加里塩・硝石などの非金



屬性礦物とがある。金屬の製鍊には、高度の技術と大きな設備とが必要なため、經濟文化の進んだ國でなければ、鑛業は發達しない。随つて、未開國には鑛物資源が未開發のまま、残されてゐるものが多く、又、開發されても、外國資本による場合が少くない。

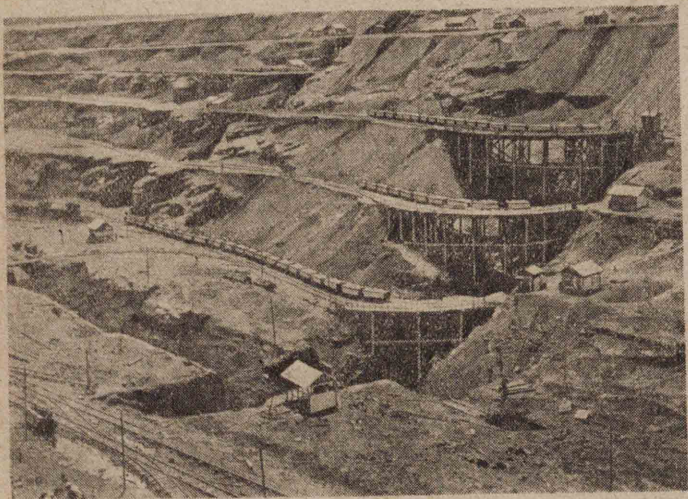
世界の主要鑛業地域は北米五大湖地方、ヨーロッパの北西部及び中部、ソビエト聯邦南アフリカ、濠洲南米アンデス山地などで、支那、滿洲などにも埋藏量が多い。わが國は地質の變化に富み、鑛物の種類と分布とは恵まれてゐるが、いづれも埋藏量は多くない。

石炭は貴重な動力資源である。世界の主

要な炭田は米國、英國、ドイツ、ソビエト聯邦、フランスなどにあつて、採掘の盛んな炭田の附近には、大きな工業地帯がある。日本支那、滿洲、インド、濠洲、南アフリカなどにも、かなり石炭を産し、各地方の需要を満たしてゐる。シベリヤや支那の奥地には未開發の石炭資源がある。

撫順炭田の露天掘り

わが國の石炭は鑛産物中の首位を占め、國內需要の大部分を満たしてゐるが、なほ滿洲、支那、インド支那からも輸入してゐる。石油は石炭にもまさる動力資源で、ガソリン、重油は航空機、自動車、軍艦、船舶の燃料として、潤滑油は機械の減摩料として、缺くことのできないものである。随つて、その



生産の多少は、国力に大きな関係があるので、列國はその開發に努めてゐる。しかし、油田は狭い地域に偏在してゐるので、列強の間には、その獲得をめぐつて烈しい争ひが續けられてゐる。

米國は世界産額の大半を占め、ソビエト聯邦、ベネズエラ、イラン、メキシコ、ルーマニアにも多く産し、大東亞ではスマトラ、ボルネオ、ジャワ、ビルマが主な産地である。

わが國には石油の産が少いが、北樺太の油田や東亞各地の油田を採掘し、精油工業はよく發達してゐる。近年は石炭を液化して、盛んに人造石油を製造し、アルコールも混用されるに至つた。又、滿洲の撫順では、油頁岩からも作られてゐる。石油に恵まれない國家にとつては、人造石油工業は軍事上特に重要なので、各國とも眞摯な研究、工業化を行なつてゐる。ドイツはその先進國である。

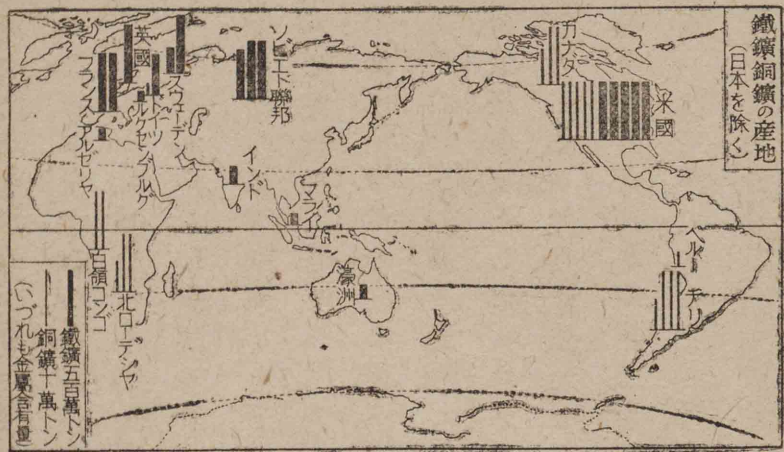
金屬性礦物のうち、最も大切なものは鐵で、その供給が不足であれば、産

業や交通の發展も國防の充實も全く不可能である。

世界の主な鐵礦産出國は米國、フランス、英國、スウェーデン、ドイツ、ソビエト聯邦などである。鐵礦を製鍊して銑鐵、鋼鐵を作るには、多量のコークス用石炭を要するので、製鐵工場は炭田に近く、且つ、交通が便利で、原料を運搬しやすい所に發達してゐる。

わが國では、國內に鐵礦の産が少いが、滿洲、支那、その他共榮圈内の鐵礦を輸入し、製鐵が盛んに行なはれてゐる。

銅は軍需や電氣工業用を始め、用途の廣い重要な資源で、米國、チリ、カナダ、アフリカなど



が主な産地である。大東亞に於いては、わが國やフィリピン・ビルマ・インドなどに産するが、共榮圈内の需要を満たすには足りない。

アルミニウムは航空機及び各種の器具として需要が多く、ドイツ・米國・カナダ・ソビエト・聯邦・フランスがその主産地である。わが國は東インド諸島からボーキサイトを輸入し、その製鍊が盛んである。マグネシウムも重要な輕金屬で、ドイツが世界産額の過半を占めてゐる。

錫はマライと東インド諸島とが世界の最も重要な産地である。

そのほかの鑛産資源としては鉛・亜鉛・ニッケル・金・銀・水銀などがあり、その他稀金屬としてタングステン・モリブデンなども大切である。

六 工業 農業や鑛業などの原始産業によつて採取した物に加工し、製品を作り上げるのを工業といふ。工業は輕工業と重工業とに大別される。輕工業には綿工業・絹工業・製紙工業などがあり、重工業には金屬工業・機械工業・造船工業などがある。

工業は原始産業の上に成り立つものであるから、自然との關係は原始産業ほど直接的でない。随つて、資源に恵まれない所にも、工業を發達させることが出来る。綿産の少いわが國が、世界屈指の綿工業國であつたことや、鐵を産しないスイスに精密工業の盛んなことなどは、その例である。しかし、日本の綿工業は、湿度の高いことや海運の便利なきが、すぐれた技術、豊かな勞力などと相まつて發達したものであり、又、スイスの工業はアルプス山間の水力を利用したもので、間接ではあるが、やはり自然への調和をよく現してゐる。

一般に、工業の發達には石炭・石油・水力の動力源が豊かで、且つ、勞力が多く、水陸交通の便利なことを條件とするから、人口が稠密で、文化の發達してゐる北半球の温帯に盛んである。

中歐地域及び英國と北アメリカの北東部とは、世界の主要工業地帯であるが、わが國も近年工業が著しく發達し、世界に於ける重要な工業地域

となつた。又、ソビエト聯邦の工業も最近急速に發達し、滿洲支那インド・濠洲の一部などにも近代的な工業地がある。

纖維工業は氣候が濕潤で、勞力の多い地方に適する。そのうちで最も重要な綿工業は、わが國及び英國・米國に盛んで、わが國や英國は輸入原料によつてゐた。近年は支那・インド・ブラジルなどの綿産地にも綿工業が行なはれるやうになつた。

わが國の綿の消費量は英國を凌ぎ、その製品は英國製品を退けて世界中の市場に進出してゐた。支那事變以來、わが紡績工場の大進出は目覺しく、更に將來は南方諸地域に於いても、綿の増産につれて、綿工業は重要な工業となるであらう。

羊毛工業は中歐地域及び英國・米國などに發達してゐるが、わが國でも、從來、濠洲・アルゼンチンなどから羊毛を買ひ入れて、斯業が盛んに行なはれてゐた。

絹工業は生絲の大産地であるわが國が特に有名で、その獨得なすぐれた技術により、藝術的意匠に富むものを産出し、國內の需要を満たすほか、廣く海外に輸出してゐた。その産地は本州の中央部を始め、國內各地に分布してゐる。米國の東部でも、從來、わが國から輸入した生絲を原料として、絹工業が榮えてゐた。その他支那・フランス・イタリアなども絹織物の産地として知られる。

人絹工業は、わが國の發達が特に著しく、從來世界第一位を占めてゐた米國を凌ぐ勢を示し、人絹・絲・人絹織物の輸出額に於いては、大東亞戦争前世界の首位を占めてゐた。羊毛の代用であるステープルファイバーの紡織に就いても、わが國の發展が目覺しく、ドイツ・イタリアなどがこれに次いでゐる。

わが國は、從來、専ら纖維工業によつて國際經濟上に重要な地位を占めて來たが、最近ではこれに代つて、重工業及び化學工業の發達進出が著し

い。  
各種の金属工業に就いては既に學んだが、機械工業も工作機械農業機械・原動機・車輛・船舶・精密機械・兵器など、いろ／＼な部門に分れてゐる。いづれも進んだ科學と高度の技術とを要し、その發達は國防力を決定する最も重大な要素である。

わが國の機械工業は最近特に飛躍的發展を遂げ、ドイツのやうな先進國と覇を争ふやうになつた。米國は飛行機・自動車・電氣機械・農業機械など、英國は原動機・船舶・紡績機械など、又ドイツは電氣機械・精密機械・兵器などの製造に特色が認められる。

化學工業は塩・タール・油脂・硫黄などを原料とする工業で、わが國はこの部門に就いても長足の進歩を遂げてゐる。海外では、ドイツと米國とが傑出し、硫安・染料・合成樹脂・藥品などの製造が盛んである。

製紙工業に就いても、わが國は世界有數の地位を占め、洋紙のほか、獨得

の和紙を國內の所々に産出する。カナダ・ドイツ・英國なども製紙工業國として知られる。

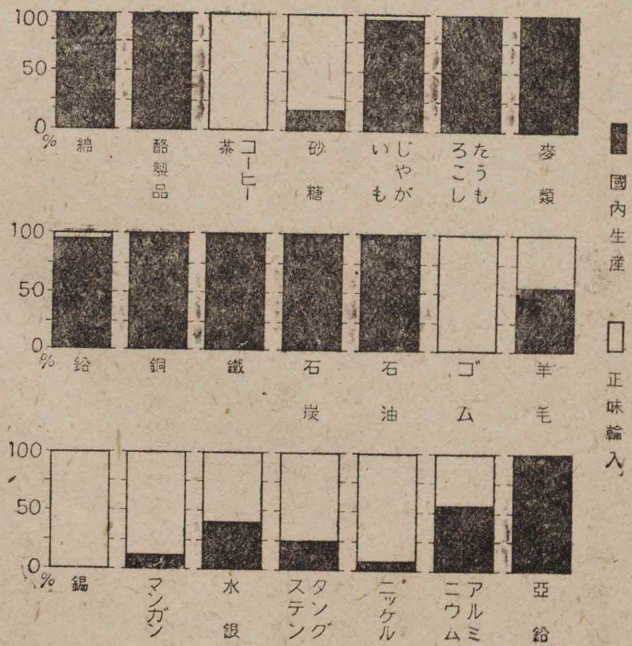
窯業のうち、セメント工業はわが國のほか米國・英國などに行なはれる。わが國では硝子工業もまた發達し、特に板硝子の生産に於いては、世界の首位を占めてゐる。ドイツ・米國・英國なども硝子工業國で、特にドイツの光學レンズは有名である。

陶磁器は陶土と燃料の得やすい地方に發達し、わが國は古來すぐれた技術によつて、特色のある製品を出し、國內用のほか、盛んに海外に輸出してゐた。米國・英國・ドイツ・フランス・支那なども陶磁器の産地で、それ／＼の傳統と趣向とを發揮してゐる。

このやうに、わが國は世界の工業國としての發達が著しい。これは海上交通の發達によつて、海外から原料を求めるに便利であること、勞力が豊富なこと、水力電氣などの動力源に恵まれてゐることなどにも原因が

あるが、又一つには、わが國民の素質がすぐれてゐるのと、官民が一致してその發達に盡力した賜物でもある。今後、わが國は大東亞共榮圈内に於ける唯一の近代工業國として、その工業的役割を總べて擔當しなければならぬ重要な立場にある。

わが國の工業は、從來主として四大工業地帯に集中してゐたが、最近はその周圍の地方に廣がる一方、國防上の必要から、工場地方分散も實施されてゐる。



七 商業 われ／＼が生活を續けて行く上には、いろ／＼な物が必要で

あるが、それらを總べて自分で生産することは不可能であるから、おのづから分業と交換とが行なはれる。この交換は、文化の發達しない間は、ごく狭い範圍に限られてゐたが、次第にその範圍が廣がるにつれて、商業が興つた。

このことは、國家と國家とに就いても同様で、いかに資源の豊かな産業の發達した國でも、あらゆる必要物資を自給自足することはできない。今日、資源の豊富を誇る米國でも、ゴム・キニーネ・錫などの重要資源に缺けてをり、ニッケル・マンガンなども非常に不足してゐる。又、世界には英國やベルギーのやうに、工業を主産業とする國もあれば、アルゼンチン・ブラジルのやうな農業國もある。かやうなわけで、國家と國家との間に國際商業、即ち貿易が重要な役目をもつやうになつたのである。

國內商業や貿易は、もと／＼必要な物を必要な場所へ移動させて、國民生活を圓滑にすることが目的であつたが、商業が一つの産業となり、多く

の利益を生むやうになると、貿易のための産業が奨励され、各國は争つて世界の市場に進出した。殊に工業が盛んになるにつれ、列國はその製品の輸出のためにあらゆる努力をし、貿易上の争ひは益、烈し、なつた。殊に英國と米國とは、自國の盛んな工業を以つて世界の市場を獨占しようとし、同じ工業國であるわが國の發展を事ごとに妨害してゐた。このやうに、貿易を外國に脅おびやかされることは、國內資源に恵まれなわが國やドイツにとつては、國家の存立にも關はることであるから、そのためにも廣域經濟圏としての共榮圏を確立することが必要なのである。

これからの商業は、國內に於いては生活必需物資の配給を重要な役目とし、貿易は共榮圏全體を一生活圏として、その間の物資の移動を最も大きな任務とするわけである。

八 交通 商業が國境を越えて貿易にまで進展するやうになつた大きな原因は、交通及び通信機關の發達である。

交通には、便利な通路と交通機關とが必要である。汽車、電車、自動車、汽船、航空機などの交通機關並びに郵便、有線及び無線の電話、ラジオなどの通信機關は空間距離を縮めて、國民の活動を活潑にした。しかし、これらは自然の條件に制限されて、まだ發展の餘地が多く残されてゐる。

陸上の交通は一般に山脈、河湖、森林、沙漠などの障礙を避けて行なはれる。汽車、電車、自動車は主要な交通機關であるが、馬、ろばらくだなども所に用ひられ、又、寒帯では犬となかいに橇そりを引かせる。自轉車は日常生活上大切な交通機關であり、馬車、牛車は今日でも、なほ短距離間の運搬に用ひられる。

鐵道は陸上交通の幹線で、地勢が平で産業の進んだ地方に發達してゐる。世界の最も密な鐵道網は北アメリカと中歐及び西歐の工業地帯とに見られ、そのほかインド、アルゼンチンなどにも發達してゐる。わが國は山地が多いが、鐵道は到る所に敷設され、國內はもとより、滿洲や支那と



の連絡も便利になつた。

自動車は短距離だけでなく、長距離輸送にも用ひられ、米國に最も發達し、英國・ドイツなどがこれに次いでゐる。

水路による代表的な交通機關は汽船であるが、近時はモーター船も多く用ひられてゐる。水路航行は陸運に比べて運賃がやすい。世界で交通の盛んな内陸水路は、ヨーロッパの河川と運河、北米の五大湖、支那の揚子江などである。

海運は世界輸送量の大部分を占めて、鐵道と共に最も重要である。英國が長い間發展を續けて來たのも、強力な海運によることが多かつた。從來、海運の最も盛んであつたのは、ヨーロッパと北米とを結ぶ北大西洋航路で、東亞とヨーロッパとを結ぶ亞歐航路がこれに次ぎ、又、東亞から北米に至る北太平洋航路も盛んであつた。海運業は、その國の地理的位置や海岸線の長さなどに關係が深く、又、人口の密度、資源などにも影響され

るもので、これらの諸條件に恵まれたわが國は、世界の主要な海運國となつてゐる。

航空輸送は最近著しく發達した。飛行機は天候に支配されることが多いが、迅速なのが特徴で、大都市間の旅客郵便物の輸送に用ひられ、又、山地・沙漠・熱帯地方など、陸運の發達し得ない所にも適する。ヨーロッパ・北米は航空路の發達が著しく、わが國も共榮圏内の諸地域と頻繁な空路を開いてゐる。

郵便・電信・電話などは、わが國を始め世界の各地に普及し、人類の文化に大いに貢獻してゐる。

交通は又、政治上・軍事上からも極めて大切である。シベリヤ鐵道の敷設も、汎米鐵道の計畫も、皆その必要から起つたものである。支那の統一が困難なのは、民族の複雑なことや國土の廣大なことにもよるが、交通の發達が十分でないことが一大原因となつてゐる。又、滿洲の鐵道幹線が

いづれも南北に走つてゐることは、同國の國防上に大きな意義をもつてゐる。

わが國は、今後は交通上に於いても大東亞の核心となり、そのすぐれた技術によつて、諸地域の交通の發達に力を盡くし、陸海空に互つて、大東亞を縦横に連絡する交通網の建設に邁進しなければならぬ。

### 三 住民人口聚落

世界には約二十一億の住民があり、その約五割はアジアに、約三割は歐阿に住んでゐる。これらの住民は、その主な分布によつてアジア人・ヨーロッパ人・アフリカ人などに大別される。

アジアの住民はわが日本人を始め、滿洲人・漢人・蒙古人・インド支那人・インド人・インドネシヤ人などが主なものである。

日本人は上御一人を戴く忠勇無比の國民で、全アジア人の指導的地位を占めてゐることはいふまでもない。

漢人は主として支那に住み、古い歴史をもち、粘り強い性格と比較的環境に對する適應性に富んでゐる。インドに住むインド人も古い歴史をもつてゐるが、長い間英國に壓迫されて、今日なほ氣の毒な生活を續けてゐる。アジアの南東部及びその附近の島嶼に住むのがインドネシヤ人

である。これもまた大東亞戦争前まで、米英蘭などの壓迫を受けてゐた。アジヤ以外にもアジヤ人は廣がつてゐる。トルコ人・フィン人・ラップ人・マジヤール人などがそれである。

ヨーロッパ人はいはゆる白人で、主としてヨーロッパに住むが、そのほか北米・南米・南アフリカ・濠洲を始め、世界の各地に分布してゐる。これらは、更にチュートン・ラテン・スラブなどの諸族に大別される。

チュートン族はドイツを中心とするドイツ人と、米英の主要住民であるアングロサクソン人とが主なるものである。ドイツ人は着實勤勉で愛國心が強く、アングロサクソン人はあくまで實利的物質的で、傲慢の風がある。

これに對してフランス人・イタリヤ人・イスパニヤ人・ポルトガル人及び南アメリカ・中米・メキシコなどの諸國民は、ラテン族の系統をひくもので、その性格は一般に快活で感激性に富み、藝術に秀でてゐる。しかし、チュ

ートン族に比べてやゝ消極的である。

スラブ族は東歐地域や中歐地域などに廣く分布し、その性格は鈍重といはれるが、忍耐力が強い。

アフリカ人はいはゆる黒人と呼ばれるもので、主に中南アフリカに住んでゐる。このほか、アメリカ大陸に送られ、奴隸としてしひたげられた者の子孫が、今なほ南北アメリカに多く、特に米國の南東部を中心として約一千万の黒人が數へられる。熱帯及び亞熱帯に於ける黒人の總數は一億二千万以上に達するが、一般に文化の程度は低い。

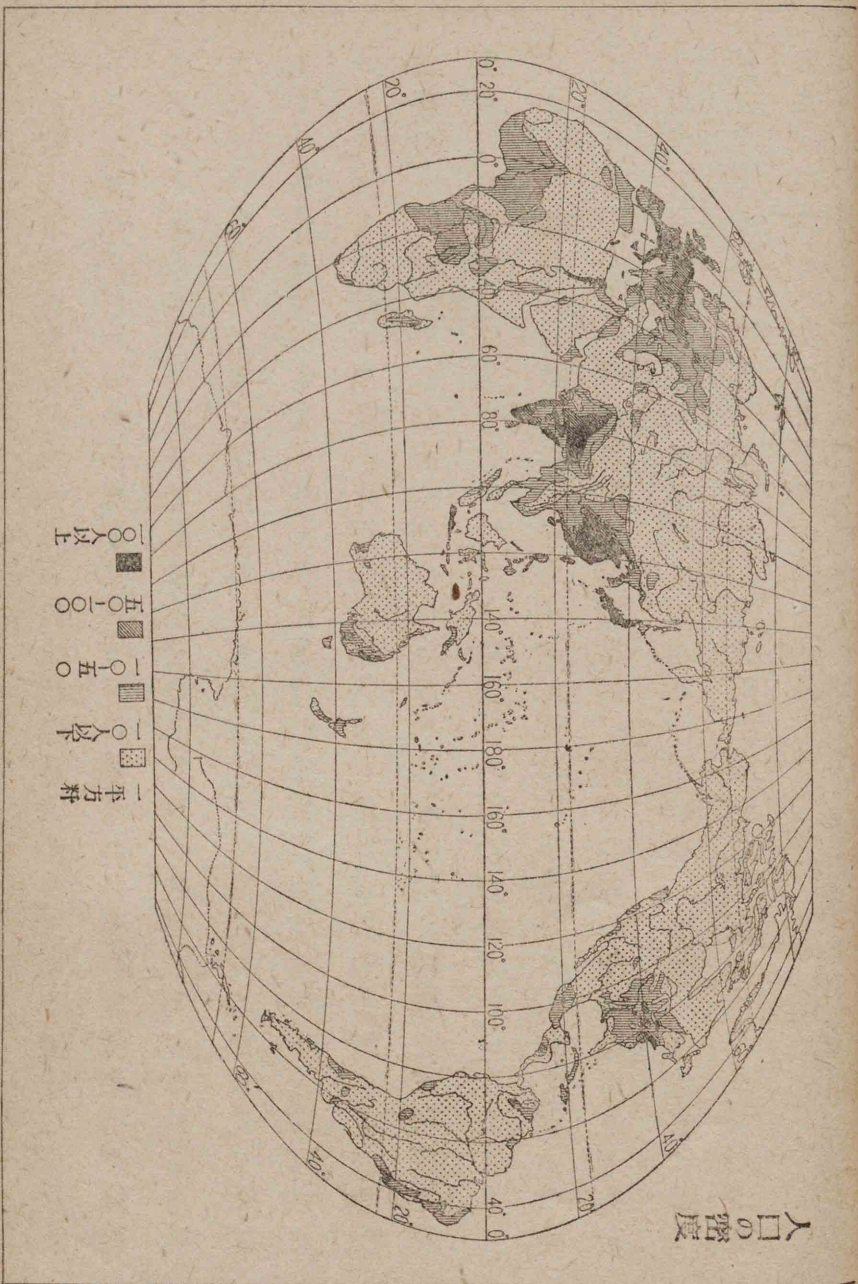
南北アメリカの原住民であるインディアンは、總數約四千六百萬あるが、文化も開けず、全く白人に支配されて、その數も次第に減少してゐる。

これら世界の住民には、それト、異なつた國民性がある。アジヤの人は佛教回教などを信じ、祖先崇拜の念が篤く、傳統慣習を尙び、家族主義を生活の基としてゐる。これに對して、ヨーロッパの人々は概ねキリス

ト教を信じ、物質を愛し、個人主義を生活の基調としてゐる。各國民は各自の異なつた風俗習慣言語をもち、又、それト生活の様式を異にする。随つて、大東亞共榮圈を確立すべき任務のあるわれトは、各地に住む人々のそれトの性格、風俗習慣などを十分に理會して、心から協力させるやうに導いて行かなければならない。

主權領土及び國民が一體となつて國家が成り立つのであるが、その國力は必ずしも人口の多少だけによるものではない。國民の性格や努力、資源の種類や量、更に社會制度などによるところが大きい。しかし、人口の少い國は國防力に缺けるから、世界の政治、經濟上に有利な地位を占めることができな。随つて、國家の發展には、多數の人口とその増加とが必要である。

それでは、世界に於ける人口が現在どのやうに分布してゐるか、又、どんな地理的條件によつてさうなつてゐるかを考察しよう。

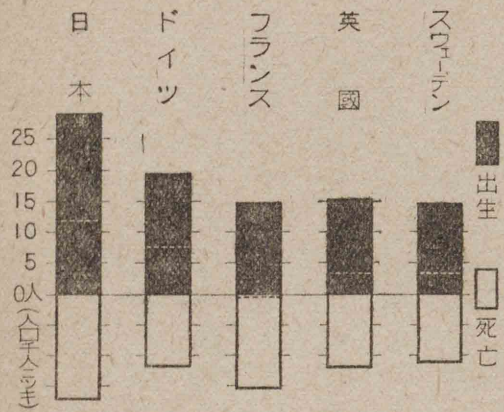


一般に、人口密度の最も大きいのは、温帯地方の商工業の發達した所である。ヨーロッパの北西部、北アメリカの東部、わが國の京濱地方や阪神地方などがそれである。それに次ぐのは集約的農業の行なはれる地域で、わが内地、支那の揚子江流域、インドのガンジス川流域などはその例である。熱帯の密林地帯は開拓が困難なものと、氣候が文明人の永住に適さないのとで、一般に少數の未開の土着人が生活してゐるだけで、人口密度は甚だ小さい。更に、農業に適さない乾燥地や寒地では、僅かに牧畜や漁獵が行なはれるに過ぎないので、人口密度も極めて小さい。

わが國の總人口は既に一億を突破し、人口密度は、舊ベルギー、舊オランダや英本國に次いで世界第四位である。支那の人口は四億以上と推定され、又、インドには三億八千萬、ソビエト聯邦には一億五千萬、米國には一億三千万の人口があるが、これらの諸國は國土の面積が廣いので、人口密度はいづれもわが國より遙かに小さい。

人口は出生と死亡との差、及び入國者と出國者との差によつて絶えず變動するもので、前者を自然増減、後者を社會増減といふ。

世界人口の自然増加は年々約二千萬人で、約百分の一の増加率を示してゐるが、その率は次第に減退し、特にヨーロッパに於いてその傾向が著しい。もと、ヨーロッパの諸國では、産業の發達、



生活の改善につれて出生率が増加すると共に、醫學衛生の進歩により死亡率が減少し、最近三百年ぐらゐの間に約三億の人口が増加し、六千萬以上の移民を世界各地に送つた。しかし、第一次歐洲大戰以來次第に出生率が減り、自然増加が少くなつた。特にフランスなどは、近年は自然減少を示すやうになり、國防上大きな問題となつてゐる。ヨーロッパ諸國の發展が概ね

止つたことや、今次の戦争に於けるフランスの敗戦を考へても、人口の増加が國家の發展にいかん大切であるかがわかるであらう。

支那やインドのやうに、概して住民の生活程度の低い國では出生・死亡率共に多いが、なほ増加率は高い。これに反して、文化の進んだ國では死亡率は減少するが、出生率もまた減少し、増加率が次第に低くなる傾向がある。それ故、人口問題に對しては、いづれの國も重大な關心をもつて研究してゐる。

わが國の自然増加率は比較的高いが、死亡率もまたかなり高い。もちろん、死亡率は衛生施設の普及、生活の向上によつて減少してはゐるが、特に乳幼児と二十歳前後の青年の死亡率とは、ヨーロッパ諸國よりも高位にある。随つて、わが國の年齢別人口構成を見ると、十五歳以上六十歳未満のいはゆる生産年齢者の全人口に對する割合は、他の列強よりも幾分低くなつてゐる。

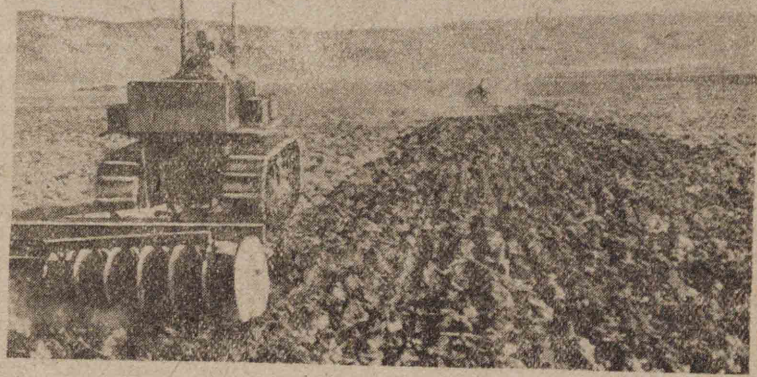
人口の社會増加は、移民の入國によつて生ずる。一般に人口稠密で發展の餘地の少い地域から、人口稀薄で生活の容易な地方へ、一時的乃至永久的に移住する者が多い。

從來、社會増加率の高い所は、南北アメリカの諸國や、濠洲・ニュージラ・ンド・南阿聯邦などで、それらの地方へは早くからヨーロッパの移民が掛り、特にイタリヤ・英國・ドイツなどからの移民が多かつた。

東亞では、支那が移民を出す主な國である。華僑の名を以つて呼ばれる數千萬の支那人の國外移住者は、その大部分がマライ・タイ・東部インド支那・ビルマ・東インド諸島などに住み、主に商業に従事し、經濟的活動力が盛んである。これらは概ね南支那の福建・廣東・海南島地方の出身者で、その郷土が耕地に乏しく、人口過剩、政治上の不安などのため、南方に出稼ぎするのである。又、北支那から滿洲へは、年々多數の苦力が出稼ぎする。わが國では、日露戰役後になつて滿洲へ移住民を送つたが、東インド諸

島・フィリピンなどの南方諸地方へも相當数の移住民を送つた。そのほか米國のカリフォルニア及びハワイへの移住者が約三十萬、ブラジルその他南米諸國へ約二十四萬を數へた。しかし、移住民は、わが國の人口動態の上に大きな影響を與へるまでには至らなかつた。

近年は滿洲及び支那への移住者が多く、特に滿洲の農業開拓に對しては、將來二十年間に内地人五百萬を送る計畫を立て、着それを実行してゐる。さうして、わが開拓民によつて建てられた諸部落は、今ではいづれも模範村として、健實な發達を遂げてゐる。



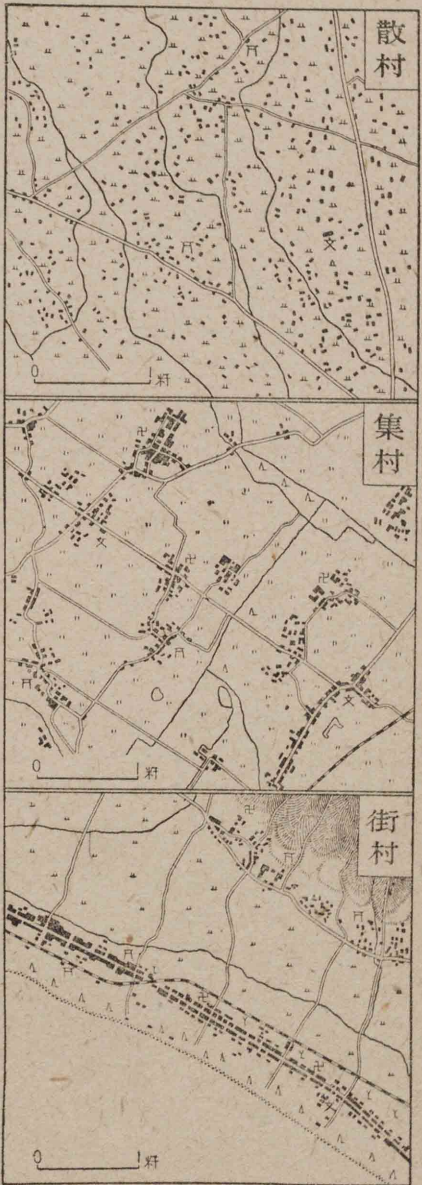
滿洲のわが開拓民

てゐる。

南北アメリカ、濠洲、ニュージラランド、南阿聯邦などは、未開の資源が豊かな上に人口が少く、過剰人口の移住地として適してゐるにも拘らず、從來、南米諸國以外はアジア人の來住を制限又は禁止してをり、近年は南米諸國さへも制限や禁止をするやうになつた。このやうに、アジア人は世界の到る所で發展を阻止されただけでなく、インド、南方諸地方及びアジア内部さへも植民地としてヨーロッパ人に支配されてゐた。今、わが國が大東亞共榮圈の建設に努力してゐるのは、これらヨーロッパ人の不當な勢力を退け、アジアを眞にアジア人の發展の場所として確保し、アジア諸民族の永遠の平和を打ち立てようとする神聖な使命を果すためにかならぬ。

人々は互に相集つて生活を營むから、そこには必ず住居の集團、即ち聚落が出来る。聚落を大きさからみると、比較的小さいものを村落、大きい

村落の種類



ものを都市といふ。

村落の住民は主に原始産業に従事する。村落は地勢や産業の種類、社會制度などの影響を受けて、生活に最も便利な形態をとるが、その主なものは散村・街村・集村である。各自の郷土に就いて實例を調べるがよい。

都市では主に商工業が営まれ、村落よりもいろ／＼な歴史的原因や社

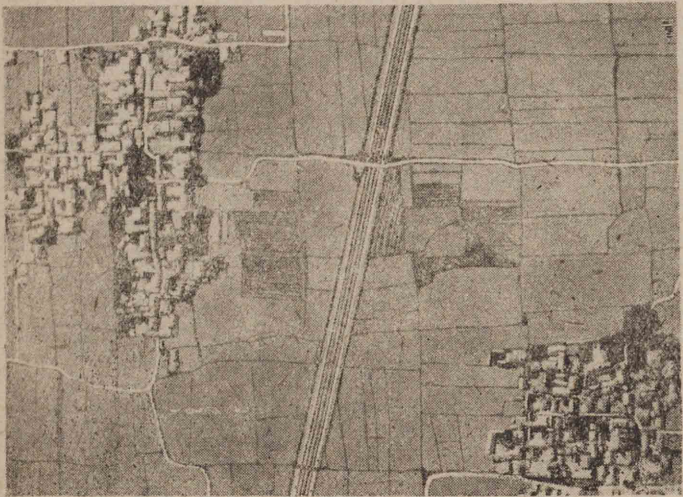
會制度の影響を受けることが多く、その形態が複雑である。都市には自

集村

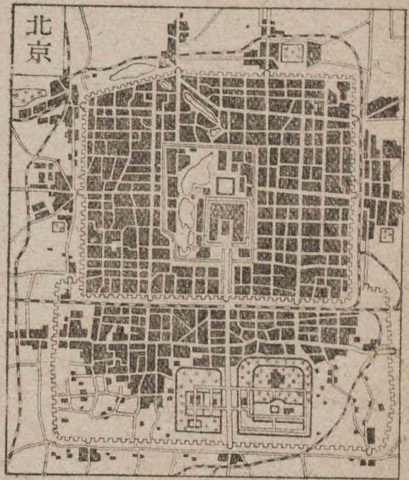
然都市・人為都市・混合都市の別がある。

自然都市は、その發達につれて自然に大きくなつたものであるから、街路の不規則なものが多い。多くは、中心から四方に出る街道に沿つて、先づ街村が出來、それが次第に結合されて一つの都市となるのである。わが國やヨーロッパには、この形態に屬する都市が多い。

人為都市は、最初から或る計畫によつて設計されたもので、これには直交式放射狀式・同心圓式・扇狀式などがある。直交式は京都・札幌・豊原のやうなもので、その例に富

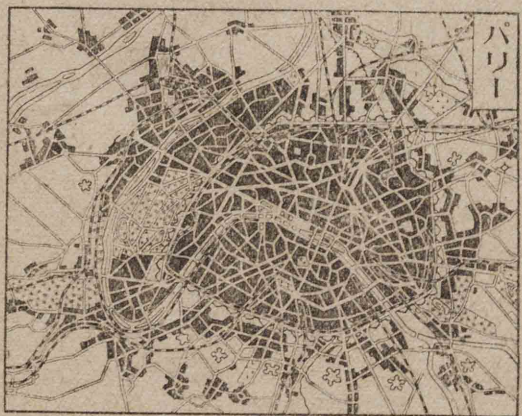






ぐらしてゐるものを特に城壁都市といひ、北京、南京などはこれである。わが國の城下町には、一定の計畫のもとに作られたものが多く、城を中心として土屋敷と町家とが、いろいろな形式や配置をとつてゐる。

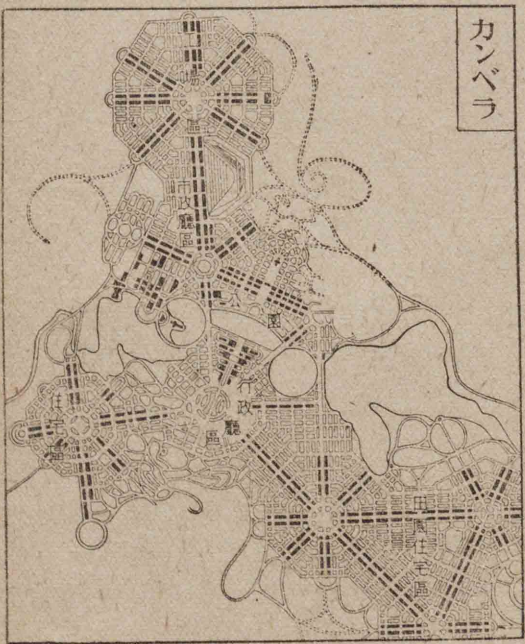
混合都市は自然都市の區域を擴張し、改造す



んでゐる。放射狀式には大連、パリなどがあり、又、同心圓式にはモスコ、ウィーンなど、扇狀式にはアムステルダムがある。新京や濠洲のカンベラなどは、いはゆる近代の様式の都市である。都市のうちで城壁をめぐらしてゐるものを特に城壁都市といひ、北京、南京などはこれである。わが國の城下町には、一定の計畫のもとに作られたものが多く、城を中心として土屋敷と町家とが、いろいろな形式や配置をとつてゐる。

る結果出来るもので、滿洲の新市街をもつ都市などは、その最もよい例である。

都市の形態を合理化して、國防その他に都合よくすると同時に、その美化をもはかることを都市計畫といふ。都市の建設の場合はもちろん、從來の都市に對しても商業地、工業地、住宅地などの各地區を定め、建物、道路、公園その他の施設を統一、整理すると共に、その外觀、衛生にも注意する。大都市の郊外に見られる田園都市も、このやうな意圖によつて作られたものである。又、都市及び村落は、その發達した原因や生業によつて、大體、政治



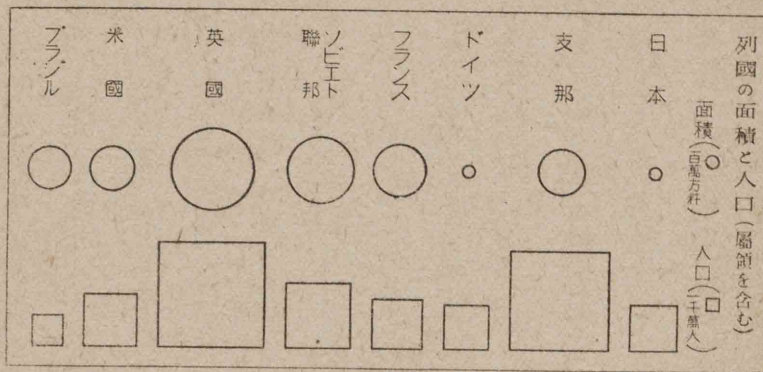
都市・軍事都市・工業都市・市場都市・宗教都市、或は農村・漁村などに分けられるが、多くはこれらの性質を幾つかもつてゐる。わが國の實例に就いては、各自で舉げてみるがよい。

都市が非常に大きくなると、國防上危険が多いばかりでなく、物資の配給や住宅・交通・衛生などに關しても不便・不利が多くなるので、近年は都市の分散・都市人口の疎開が行なはれてゐる。

#### 四 國家と勢力圏

國家は内に國力が充實すれば、必ず外に向かつて發展する。その發展のためにはいろ／＼な方法がとられ、從來、商業・貿易を以つてした場合もあれば、植民地の獲得によつた場合もあり、又、資本の投下によつたこともある。二國以上の國家が同じ目的で、同じ地域に發展しようとする場合には、必ずそこに衝突が起つて、戰爭にまで及ぶことがある。

このやうに、國家が外部に向かつて發展する場合には、常に宗教上・民族上・貿易上・軍事上の紛争が絶えない。随つて、われ／＼は常にこれに打ち勝つだけの準備を必要とする。即ち、内にあつては皇國精神の昂揚（かぶたげ）をはかると共に、科學心の向上、軍備の充實に努め、外にあつては共榮圈内の諸民族を指導するやうにしなければならぬ。それがためには、われ／＼はわが國ばかりでなく、一通り諸外國の情勢に通じておくことが大切で



ある。さて、國家の意義に就いてはいろいろに解釋されてゐるが、一定の土地による一定の人民が、完全な主權のもとにあつて組織される統一體である。といふのが、先づ通例である。しかし、これは地球上に於ける國家一般の場合であつて、わが國では全くその趣を異にする。即ち、日本の國家は、上御一人の國家であつて、人民も國土も共に陛下のものである。わが國が皇統連綿として續くゆゑんも、實にこゝにある。

今日、世界には約六十の獨立國家があるが、そのうちには、領土の廣い國もあれば、狭い國もあり、歴史の古い國もあれば、新しい國もある。

面積が大きく、人口も多い國々を普通大國といふが、それらは必ずしも強國とは限らない。強國は領土の大きさよりも、寧ろ人口の量及び質による。しかも、そこに強國としての實質を備へようとする國家の意志が強大でなければならぬ。この意志は、優秀な陸海空軍を作ること、高度の文化・商工業をもつこと、國民に遠大な統一的な國策を植ゑ附けることなどに現れる。

次に、國家は主權の所在によつて、君主國と民主國又は共和國とに分けられ、主權行使の形式によつて、立憲國と專制國とに分けられる。更に、領土の構成によつて、單一國と複合國とに分けられ、民族の構成によつて、單族國と複族國とに分けられる。そのほか、島嶼國・半島國・臨海國內陸國・大陸國などの別もあれば、又、熱帶國・溫帶國・寒帶國などの見方もある。

世界の諸國家は、右のやうな種々の條件の組合はせによつて一國を形成してゐるが、これらにはそれと、利害得失があつて、一樣ではない。國

家の發展に對して深い關係のあるのは、先づその位置である。

國家の位置に就いても、いろ／＼な見方があるが、こゝには氣候帶に對する位置と、海洋に對する位置と、政治的の位置とに分けて考察しよう。

一 氣候帶に對する位置 地球上には、人間の居住し得ないか、或は非常に困難な條件のもとに於いてのみ居住し得るやうな寒帶、亞熱帶、乾燥地や熱帶密林地方などがあつて、これらの地方では、國家の形成は非常にむづかしい。たとへてきたとしても、原始的國家か、遊牧的國家の場合が普通で、近代的國家への成長は困難である。それは、凍土、沙漠、原始林などが、文化の發達を妨げてゐるからである。これに對して、濕潤亞熱帶と溫帶とは、近代文化の國家が多く、特に強國は皆氣候のよい溫帶にある。

大東亞共榮圏内のタイやビルマやフィリピンなどが、過去に於いて容易に近代的國家に成長できなかつたのは、一つには熱帶に位してゐるからであるが、他の大きな原因として、歐米諸國の長年に互る壓迫があつた

ことを忘れてはならない。それにしても、今後これら南方の諸國家が發展を期するためには、非常な努力を以つて悪い地理的條件との調和をはかることが必要である。

二 海洋に對する位置 國家が利用できる海洋に臨むかどうかは、その發展に多大な影響がある。例へば、ドイツは北西のごく僅かの海岸が大西洋に臨んでゐるに過ぎないが、その海洋がドイツの發展に非常な役割を果してゐる。これに反して、ソビエト聯邦は東及び北に海を控へてはゐるが、大部分が凍結する海か、或は政治的に封鎖された海で、その發展に大きな障礙となつてゐる。随つて、この國は海への出口を得るために、常に非常な努力をしてゐる。



わが國や英國は島嶼國であり、米國・フランス・イタリヤなどは臨海國であつて、海洋から受ける恩恵が極めて大きい。英國が商船と艦隊とを以つて、長い間、世界をわがもの顔にふるまつて來たのも、四面海洋に取り圍まれてゐることや、狭いドーバー海峡が大陸からの侵入を防いで來たことなどによるところが多い。スイス・ハンガリー・アフガニスタンのやうな内陸國は、その發展上に多くの制約を受けてゐるが、それは海洋に臨んでゐないことが大きな原因である。

海への衝動は、必然的にその要所に當る地峽や海峡の支配となり、成長先端の確保となる。トルコがボスポロス・ダルダネルの二つの海峡を支配するため、努力して來たのも、英・米がスエズ運河や、パナマ運河の確保のために必死になつてゐるのも、そのためである。

三 政治的の位置 他國との關係からみた國家の位置も、國運に重大な影響を及す場合が少くない。中歐の眞中にあるドイツは、平時は交通や

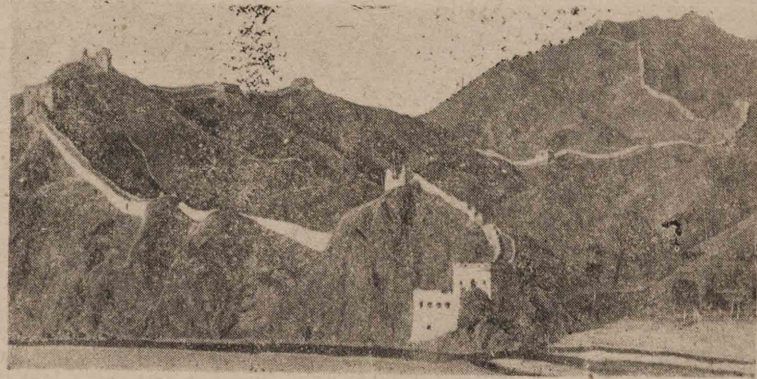


四 國家と勢力圏

文化の交流に有利であるが、一方では國際間の摩擦も起りやすい。又、弱い國家が強國と境を接してゐる場合、その國は、絶えず強國の壓力を感じるものである。舊オランダ・バルト三國などは、そのよい例であらう。

國家の位置が、その國の發展にいかにかに重大な關係があるかは、以上で大體わかつたが、こゝに於いてもまた、われわれはわが國の位置の優秀性に就いて、深い感銘を受けずにはゐられない。

國家が發展するにつれて、その領域も變化するが、それを限定する境界が國境



萬里の長城

である。  
古代の國境や境界は、多くは城壁の類を以つて  
劃定された。支那の萬里の長城、滿洲の長柵など  
はその例である。

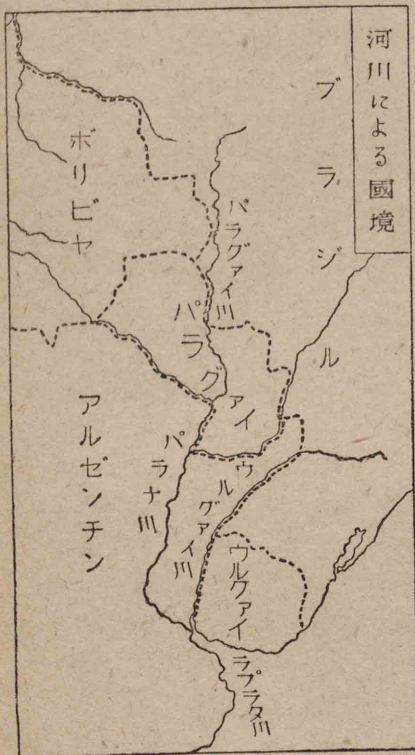
今日の國境には、海洋山  
脈、河川などによるもの  
ほか、經緯線によるもの  
見られる。山脈による國  
境は頗る多く、河川による  
ものも世界の各所にある。  
經緯線による國境には、北  
緯五十度の樺太の國境、北  
緯四十九度のアメリカの



經緯線による國境

國境などのやうな例がある。

かやうに、國境にはいろいろな種類があるが、長城や  
經緯線によるものを人爲的境界といひ、山脈、海洋、河川、  
沙漠、森林などによるものを自然的境界といふ。又、民  
族の分布と一致する境界を民族的境界、宗教分布の境  
に當つてゐるものを宗教的境界といふ。



河川による國境

國境  
は、平時  
には人  
文の交  
流に役  
立ち、戦  
時には



山脈による國境

防禦の機能を果すものが一番よい。かういふ條件を満たすものは、海洋による國境で、わが國や英國はこの例に當る。東西に廣大な太平洋と大西洋とを控へた米國もまた、恵まれた國境をもつてゐるといへる。

山脈による國境は、國防上にはよいが、交通や通商の妨げとなる。河川は、峽谷急流の場合と、平野を流れてゐる場合とでは、おのづからその性質が違ひ、随つて國境としての機能にも差異が生ずる。

國境は國家の領土の限界を表すものであるから、國境線内の地域は、政治的にも經濟的にも、その國の勢力の及ぶ範圍として、その支配下にあることは當然であるが、國家の發展につれて、その勢力は國境を越え、自國の領土以外にまで及ぶ。その發展は植民地の獲得として現れる場合もあるし、又、或る地の政治・經濟・文化・宗教などの支配として現れる場合もあるが、いづれの方法でも、その國家の勢力の及ぶ範圍を勢力圏といふ。

随つて、勢力圏は國境のやうに確定した線を以つて表すことはできない

いが、勢力圏をもつことは、國家の發展のために缺くことのできない重要な條件である。

しかし、勢力圏は國家の發展に伴なふものであり、國力の溢れ出たものであるから、先づ國家が軍事的・政治的・經濟的に、十分の實力を備へてゐなければならぬ。そのためには、國土の面積や資源なども大切であるが、それよりも更に重要なものは、國民の素質である。

國民とは、或る國の國籍を有する人々である。つまり、民族といふ場合と國民といふ場合とは、おのづから意味が違つて來る。随つて、一國の國民は單一の民族から成る場合もあるし、二つ以上の民族から構成される場合もある。さうして、前者を單族國、後者を複族國といふことは、先に學んだ通りである。單族國は國家の存立に有利であるが、複族國は、その統一上にいろ／＼な困難がある。又、同一の民族が二つ以上の國家に分布してゐる場合には、その中の有力な國家によつて、それらを統一しよう

とする運動が行なはれる。ドイツの民族運動はそのよい例である。この國の民族運動は、東歐地域やドナウ川沿岸地方のドイツ民族を政治的に解放すると同時に、これらを打つて一丸とし、大ドイツを建設しようとするものである。この遠大な計畫は、今日では既に略その目的を達成するに至つた。

わが國は、もと／＼皇室を中心として成立した國家で、皇室の御仁慈と國內の平和とを慕つて、太古以來、海外から歸屬する者が多く、更に明治維新後は、國運の發展につれて新しい同胞を迎へた。さうして、これらはいづれもわが國に同化融合し、皇恩の篤きに感激しつゝ、忠誠なる日本國民として、國運の發展に献身してゐる。

常に發展を続けようとする國家の意志が國境外に及ぶ場合、それは植民地・勢力圏・共榮圏などの形態をとる。

植民地は國家の勢力延長の最初の形で、或る土地及び住民を支配して、

自國の領土の一部分とするものである。世界に於ける植民地の獲得は、わが室町期頃から、主にヨーロッパの諸國及び米國によつて行なはれた。明治維新の頃までには、世界中の土地の大部分は、一應はこれら諸國の植民地となつたが、その後も植民地の爭奪は絶えず續けられて來た。

植民地は、その國の領土の一部分ではあるが、その地に對する政策は本國に必要な資源の獲得や過剩人口の移住や工業製品の市場としてなど、多くは本國を主としたものであつたから、その政治・經濟などは總べて本國の利益によつて規定された。隨つて、時にはその原住民が非常に殘酷に取り扱はれ、有用なものは總べて本國に運び去られた。かうして歐米諸國は、長年に互る富強を續けて來たのである。

このやうに、植民地の獲得は國家の勢力延長の一形態として盛んに行なはれたが、世界のあらゆる土地が、皆どの國かに所屬してしまひ、發展の餘地がなくなつた上に、從來の植民地さへも原住民の向上・自覺に伴なつ



て、次第に維持が困難となつたので、近年、列國の發展は土地の獲得から離れて、勢力圏の建設といふ形態に變つて來た。

勢力圏とは既に學んだやうに、一國の勢力の及ぶ地域であるから、他の國の領土でも植民地でも、皆これに含むことができる。例へば、カナダは英國の植民地であるが、實際は米國の勢力圏とみられるし、エジプトは獨立國であるが、英國の勢力圏にはいる。

世界の強國は、政治經濟文化宗教など、いろ／＼な方法によつてその勢力圏を作り上げてゐるが、最も多いのは經濟上の勢力圏でも、ちろんそれは自國を中心としての經濟圏である。

このやうに、勢力圏は從來の植民地に代る形態であるが、實際はやはり或る一國を中心として、その國に支配される地域である。隨つて、その國の利益のために、支配下の國々のそれ／＼の事情が著しく左右され、自由な活躍はできない。例へば、大東亞戦争が起ると、米國の勢力圏である南

米中米メキシコなどの諸國が、戦争する能力の有無に拘らず、わが國に對して宣戰したのも、勢力圏の主體である米國の支配によるのである。

勢力圏の範圍は、領土や植民地の境界と違つて、その主體となる國家の勢力によつて絶えず變動する。世界の強國間の紛争や戦争は、殆ど皆この勢力圏の變動によるものといへる。それなら、今まで世界にはどのやうな勢力圏があり、現在のどのやうに變化しつゝあるかを考察しよう。

第一次世界大戦後から現在の戦争の開戦前まで、世界は大體次のやうな勢力圏に分れてゐた。

ヨーロッパからアフリカにかけては、概ね英國及びフランスの勢力圏とみられてゐた。英國はそのほか、カナダ、インド、濠洲などの植民地だけでなく、東インド諸島や支那に對しても勢力を延し、強大な勢力圏を作り上げようとしてゐた。しかし、ヨーロッパに於ける英佛の勢力圏は、ドイツの復興につれて漸次弱まり、次第に守勢をとる傾きがあつた。

南北アメリカは、概ね米國の勢力圏であつたが、米國はその上、フィリピンを植民地とし、更に支那に發展するなど、東亞にまで勢力を延してゐた。ソビエト聯邦は亞歐大陸の北方に大きな勢力圏をもち、今日に至るまで、大體その勢力を保つてゐる。

これら列國の勢力圏は、今次の戦争開戦後、次のやうに變つてゐる。

英國はヨーロッパに於ける勢力圏をドイツに奪はれただけでなく、ビルマ・マライなどの領土や、東インド諸島支那などに於ける勢力を全く失つた。その上、昭南香港などの重要な根據地を失ひ、東亞に於ける勢力は殆ど一掃された。米國もまたフィリピン・グアムなど、東亞に於ける領土を失つた。フランスはヨーロッパに於ける勢力圏を全くドイツに譲り、アフリカや東亞に於いても、著しくその勢力を失つてゐる。

勢力圏の變動は、現在なほ戦と共に續けられてゐるが、その最も大きな變動は、わが大東亞共榮圏の建設によつてもたらされてゐる。

植民地及び勢力圏は、本國或は主體國家にとつては重要な價值があるが、米英などのこれまでの政策は、植民地の原住民の幸福や支配する地域の繁榮に就いては、全く顧みるところがなかつた。

このやうな、或る一國の發展や一國民の利益のみを目標とする植民地や勢力圏の不自然な状態ではなく、政治的には壓制のない、經濟的には搾取のない、高次の道義的生活圏を築き上げようとするのが、わが共榮圏建設の目的である。

共榮圏は、或る一國の利益のために支配されるのではなく、圈内の人々がそれによつてその所を得て活躍し、各の地域の發展に努め、それら各地域が互に助け合ひ補ひ合つて、共存共榮を續けようとする一つの生活圏である。現在、世界に見られる共榮圏は、獨りわが大東亞共榮圏のみである。

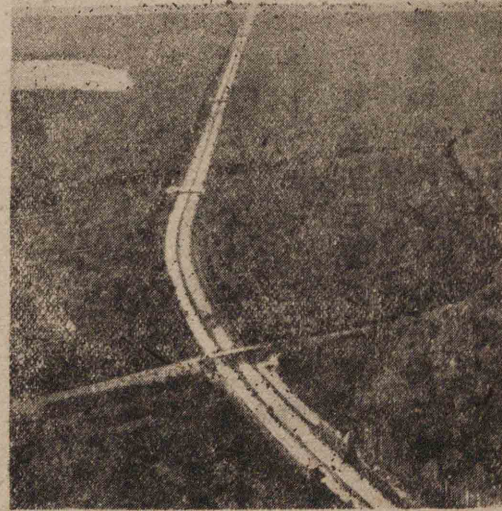
共榮圏は同じ目的を以つて一丸となり、各地域それによつて發展を續け、それが全體としてまとまれば、強力な自給力を發揮するか

ら、共榮圏の確立は、その中に含まれる各國家にとつては、最も完全な國防態勢の達成となる。

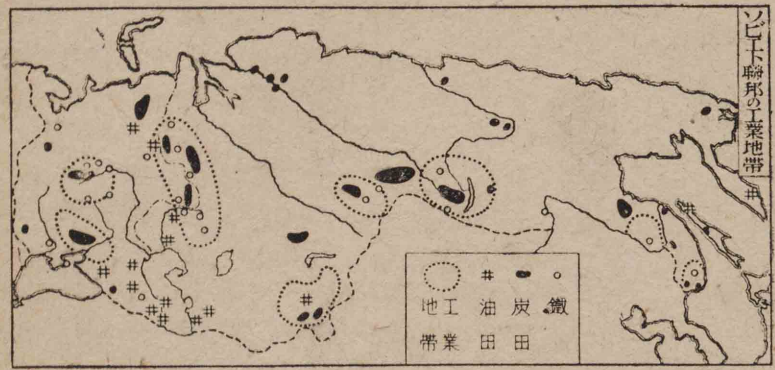
國防の意義は、單に敵を防ぎ、國を護るといふよりは、寧ろ進んで必勝不敗の態勢を確立するといふことにある。さうして、その達成には、是非とも國家の性質に應じた國土計畫が必要である。

國家の發展と國防の充實とを目的として、産業・交通・人口その他あらゆる事がらを一定の計畫によつて實施するのが、國土計畫である。

ドイツでは、既に工業の地方分散を行なひ、國內を縦横に走る自動車道路を設けるなど、國土計畫を最もよく實行した。そのことが、ドイツの國



ドイツの自動車道路



防をいかに強化したかは、今次の戦争によつて遺憾なく證明されてゐる。

ソビエト聯邦に於いても國土計畫が進められ、特にその工業の改善は著しく、ウラル地方、西シベリヤ地方などに、大工業地帯が建設された。

従來、わが國では輕工業が著しい發達を遂げてゐたが、更に重工業・化學工業なども國防上、一層その發展がはかられてゐる。わが國の工業は大部分都市に集中してをり、人口もまたこれに伴つて大都市に密集してゐるから、その地方分散も國土計畫によつて實施されてゐる。

わが國と滿洲とでは昭和十五年に國土計畫を立案し、以來、銳意國內態勢の整備と強化とに努め

てゐる。

わが國の國土計畫が、國土愛の精神に立脚してゐることはもちろんであるが、その目標は日・滿・支三國を通ずる國防國家態勢の強化をはかり、これを中心として産業交通文化などの諸施設及び人口の配分計畫を土地との關聯に於いて総合的に、合目的に構成し、以つて國土の総合的な保全・利用・開發の計畫を樹立せんとするにある。今日では、更に南方を含めた大東亞共榮圏の國土計畫へとこれが發展しつゝあることはいふまでもない。

#### 五 皇國と大東亞共榮圏

わが國は、世界の一大強國であつて、その偉大な國運の進展は世界の驚異とされてゐる。さうして、人口は既に一億を超え、學術も大いに進み、各種の産業もまた著しい發達を遂げてゐる。

今や皇國は、精神的にも物質的にも世界を指導しようとしてゐる。特に東亞に於いては、各地の住民や諸國家を精神的にも政治的にも經濟的にも、又、文化的にも、十分に指導してゐるのである。これは、わが國體が世界に冠絶してゐる上に、學問・文化・産業・軍備なども非常にすぐれてゐるかからであることはいふまでもない。

東亞及び世界の指導を強化するためには、先づ東亞の住民及び諸國家に八紘爲宇の皇道精神を徹底せしめ、どこまでもそれに立脚して、各地住民や國家の性質に應じた建設を行なはしめなければならぬ。從來の

やうに、各地住民及び諸國家が全く別箇に行動しないで、共存共榮の理念のもとに、各固有な立場で活動することが大切である。つまり、皇道精神による大東亞の協同的建設を第一次の目標として、各國家はそれらの條件に應じて、産業や文化を興し、軍備を充實しなければならぬ。さうしてこそ、眞に大東亞の新秩序を建設することができ、ひいては世界新秩序の建設に資することができるのである。

従來、大東亞の土地は到る所、歐米諸國の植民地にされ、恵まれた資源は悉くこれら諸國に奪ひ去られ、又、多數の住民は米英人に壓迫されて、みじめな生活を送つてゐた。米英兩國はその上、支那をも勢力圏にしようとし、その障碍となるわが國の發展を事ごとに妨害して來た。

これは、大東亞の安定のために不斷の努力をして來たわが國として、忍び得ないことであつた。幸ひにして大東亞戦争開戦以來、皇軍の奮戦により、東亞全域から米英の勢力は一掃され、これにつれて、共榮圈の建設は

着々實現されてゐる。即ち、ビルマ・フィリピンは獨立し、タイ・マライ・東インド諸島・支那などから、米英の勢力は驅逐された。

これら大東亞諸地域が、再び植民地の歴史を繰り返すことなく發展を續けるためには、大東亞が一體となり、強力な共榮圈を作り上げて、あくまで米英の勢力圏に對抗しなければならぬ。

なほ、近年は世界各國が自給自足の經濟を營むことに努力してゐるので、東亞各地の住民や諸國家がこれに對立して行くためにも、廣域經濟圈を建設することが絶対に必要である。

更に、日・滿・支・南方は互に近く接し、いづれも季節風の影響下にあり、しかも、共にアジアの民であり、米を常食とし、又、精神的方面にも共通するところが多い。かういふ關係にある人々が大同團結するのは、まことに當然といはなければならぬ。

かやうに、大東亞共榮圈の地理的意義は實に大きく、政治・經濟・文化・軍事

など、あらゆる方面に大きな關係がある。

政治的には、各高次の道義國家を作ることによつて、内は相互の平和を維持し、外に對しては共同の外交政策のもとに行動することができ、經濟的には共に資源を開發して、各地に固有の産業を興すことにより、各地域の需要に應じて、互に物資を交換し合ふことができる。更に、文化の上では、精神文化を基礎とし、各民族固有の文化を自由に育て、その交流を行なふことができる。軍事的には海陸空の防衛を完全にして、共に外敵に當ることができ、このやうにして、共榮圈は益、向上發展を遂げることができるのである。

共榮圈十億の人々が一丸となつて、大東亞諸地域の自然ともよく調和する方策を立て、又更に、重工業、化學工業の新設や編成替へを行なふなど、新しい構想から生まれる幾多の對策を以つてするならば、大東亞の國土計畫は着々として進捗するであらう。

わが共榮圈は、熱帶・溫帶・寒帶に互つて南北に長い地域を形成してゐるため、各種の資源に恵まれ、中でも他の勢力圏に少いゴム・錫・キナ・マニラ麻・生絲・大豆・桐油などを豊かにもつてゐる。この全域は互に近く接して集中地域を形成してゐるから、英國のやうな分散勢力圏と異なつて、平時にも戰時にも極めて有利である。しかも、この集中的傾向は、東亞の國々に共同の運命感をいやが上にも深くしてゐる。

われわれは共榮圈建設の意義の極めて大きいことを知り、こゝに大御心に基づく皇國民としての使命を自覺し、わが共榮圈の向上發展、ひいては眞の世界平和のために、一層の努力をしなければならぬ。

昭和十九年三月十六日印刷  
昭和十九年三月二十日發行

地理（國土國勢篇）

定價五十三錢

著作兼  
發行者  
東京都神田區岩本町三番地  
中等學校教科書株式會社  
代表者 山 木 慶 治

印刷者  
東京都牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
大日本印刷株式會社  
代表者 佐久間長吉郎

配給元  
東京都神田區淡路町二丁目九番地  
日本出版配給株式會社

東京都神田區岩本町三番地

發行所

中等學校教科書株式會社

日本出版配給株式會社  
日本出版配給株式會社  
一七五二

（略名）中教地理國土

著作權  
所有

文庫

44

589

広島大学図書

2000021589

